

桜の水辺風景 2017



企画主旨：

JRRN では、水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、2017 年に撮影された桜のある水辺風景の写真を皆様よりメール、Facebook 等で募集し、128 名の方々より 292 点もの素敵な写真をご応募頂きました。

本冊子では、ご応募頂いた皆様の写真を、投稿コメントと共に順不同で掲載しております。様々な水辺、そして桜の風景をお楽しみください。

著作権の取扱い：

応募作品の著作権は撮影者に帰属します。無断転載等は固くお断りします。また、二次利用についても認めておりませんので、ご注意ください。

■表紙写真

上：撮影：福井達也　2017 年 4 月 @ 兵庫県神戸市・妙法寺川

下：撮影：Hidemi Kuwahara 2017 年 5 月 @ 福島県猪苗代町・観音寺川

はじめに

皆さん！桜の写真をたくさんありがとうございました。今年はなんと 128 人の方々に総計 292 枚の作品をお送りいただきました。例年ご参加頂いている数を大きく超えて、本当にたくさんの方々に「さくらコンクール」を知って頂き感激しています。写真に写った風景ばかりでなく、写真を撮った皆様の感動に思いをはせて鑑賞しています。素晴らしい写真ばかりで、桜の時期は終わりましたが、私はまだまだ桜を楽しんでいます。お送りいただいた写真はすべてホームページに掲載していますので、皆さんもお楽しみください。

今年の桜の華やかさと散り行く様は例年にも増して、歌舞伎に登場する「さくら」を思い出させてくれました。歌舞伎に「さくら」が出てくる演目には、「義経千本桜（よしつねせんぼんざくら）」「助六由縁江戸桜（すけろくゆかりのえどざくら）」「京鹿子娘道成寺（きょうかのこむすめどうじょうじ）」「白浪五人男（しらなみごにんおとこ）」「一本刀土俵入（いっぽんがたなどひょういり）」「金閣寺（きんかくじ）」「関の扉（せきのと）」「菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかがみ）」などがあります。

「さくら」を派手で華やかで美しいというイメージと同時に、花が咲いている時間が短く、散る時は一瞬のうちに一気に散ってしまうという「ほろびの美」を体現しているとしています。これはまさに日本にしかない美意識ではないかと思います。

これらの演目のうち「助六由縁江戸桜（すけろくゆかりのえどざくら）」を見てみましょう。「歌舞伎十八番」の 1 つで、通称『助六』とよばれています。

曽我五郎時致（そがのごろうときむね）は、花川戸の助六（はなかわどのすけろく）という侠客となって、源氏の宝刀友切丸（ともきりまる）を探し出すため吉原に出入りしています。三浦屋の傾城揚巻（あげまき）と恋仲になった助六は、吉原で豪遊する意休（いきゅう）という老人が、この刀を持っていることを聞きだし、奪い返すというストーリーです。曽我五郎時致というとわかるようにこれは曽我兄弟物語なのです。歌舞伎では曽我兄弟を扱った演目を「曽我物」といいます。他には「矢の根」や「草摺引」「外郎売」本家本元の「夜討曽我狩場曙（ようちそが かりばのあけぼの）」「寿曽我対面」「曽我十番斬」「兵根元曽我」「傾城嵐曽我」などがあり、宝永～享保年間（1704～1736 年）ごろは大人気となり、江戸では、正月狂言として必ず新作の曽我物を上演する慣わしとなり、明治まで続いていました。

さて、2 時間近い舞台には、助六に喧嘩の稽古をつけてもらう白酒売り［実は五郎の兄の曽我十郎（そがのじゅうろう）］、助六の喧嘩を戒めて紙衣（かみこ）を渡す母の満江（まんこう）、助六に喧嘩を吹っかけて返り討ちに合う意休の子分かんぺら門兵衛（かんぺらもんべえ）・朝顔仙平（あさがおせんぺい）など多彩な役が登場し、観客を飽きさせません。前半には、助六との仲を意休に責められた揚巻が、悪態（あくたい）［悪口］で言い返す場面があります。揚巻は、助六と意休を雪と墨に例え、また「くらがりで見ても助六さんと意休さんを取違えてよいものかいなァ」と命がけで言い放ちます。ここは、揚巻を演じる立女方（たておやま）の貫禄を示す重要な場面です。助六の「花道（はなみち）」からの出は、紫の鉢巻の由来を含めた助六の自己紹介ともいえる「河東節（かとうぶし）」の語りに合わせ、颯爽（さっそう）と舞踊のように演じられます。このくだりは、「出端」とよばれており、助六を演じる俳優の最初の見せどころです。助六という役は、荒々しく豪快な「荒事（あらごと）」とやわらかく優美な「和事（わごと）」の要素を兼ね備えた役で、出端の振りにもこの役の性格がうかがえます。なお「河東節」は、市川團十郎家（いちかわだんじゅうろうけ）の俳優が助六を演じるときに限って使用されます。その他の家の場合は、尾上菊五郎家（おのえきくごろうけ）では清元（きよもと）、片岡仁左衛門家（かたおかにざえもんけ）は「長唄（ながうた）」を使用し、作品タイトルも変えて上演します。昔は「助六」が上演されると、座の周りに桜を何百本も植え、街全体がさくらで埋め尽くされたそうです。

「助六」は大人気の歌舞伎でしたから「助六」にちなんだ商品もたくさん発売されました。「助六凧」「助六歌舞伎揚げ（せんべい）」「助六するめ」など「助六」にちなんだ商品はたくさんありますが、なんといっても有名なのは「助六寿司」です。

いなり寿司とのり巻きの詰め合わせのことを「助六」と呼ぶようになったのは江戸時代中期。その頃、今でも歌舞伎宗家・市川團十郎家のお家芸として人気の歌舞伎十八番「助六所縁江戸桜」が大流行していました。いなり寿司とのり巻きの詰め合わせの「助六」は、この「助六所縁江戸桜」の通称から取られたものなのです。 当時、江戸の町には贅沢を禁止する倹約令が出されており、江戸前の魚を使った握り寿司に代わって、油揚げを使ったいなり寿司とのり巻きが江戸の人々に親しまれていました。やがて、このふたつを詰め合わせた折詰めが登場し大人気でした。油揚げの「揚げ」とのり巻きの「巻き」から「揚巻」と呼ばれるようになりました。そして「助六所縁江戸桜」の主人公・助六の愛人である吉原の花魁の名前も同じく「揚巻」という名前でした。このつながりから、寿司の揚巻も歌舞伎の助六の人気にあやかるようにと、いつしか「助六」と呼ぶようになったのです。

この巻頭言はその年の桜の咲き様から感じたことをお伝えしていますが、その根本は、「日本のさくら文化」です。このお話で第5回目です。ホームページを遡ってごらん頂、是非、毎年のさくらの咲き方の違いと日本のさくら文化をお楽しみください。

また来年も素晴らしい写真をお願いいたします。



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
代表理事　土屋　信行

写真は、2017 年の各都市の桜の開花日・満開日から都道府県別の開花順を独自にもとめ、その順番に並べていますので、桜前線の感覚でお楽しみいただければ幸いです。



穏やかな朝の SAKURA

早朝、出勤前に撮った一枚。水面に映る桜が光り輝いてきれいでした。

＜撮影：渋谷敏弘　2017 年 4 月 @ 東京都・門前仲町＞

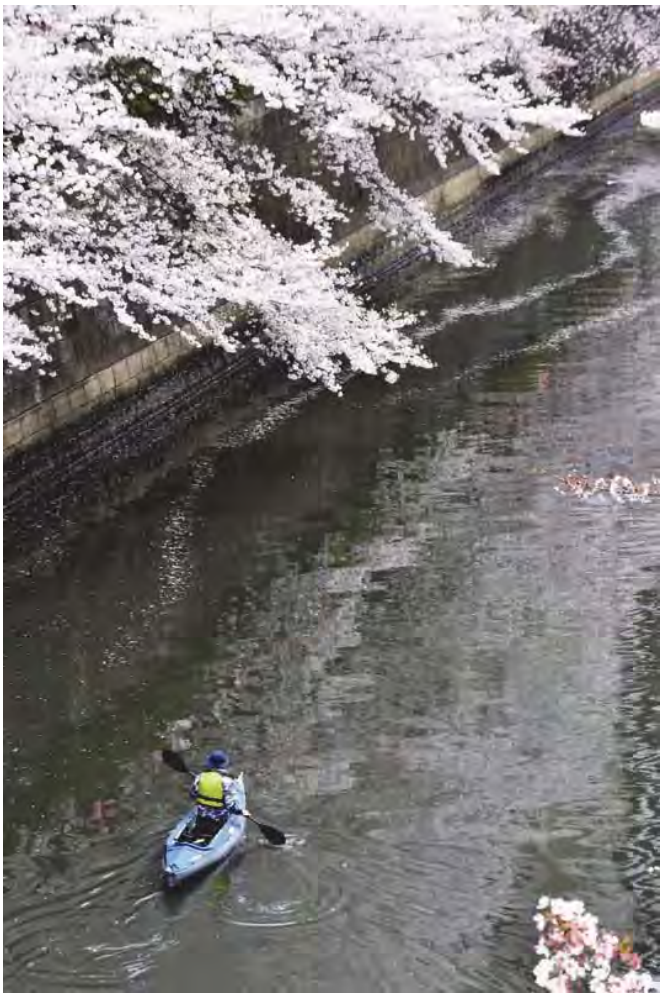


桜とチューリップと鯉のぼり

水元公園の池の周りの桜とチューリップと何故か一足早い鯉のぼりの不思議な写真です。池があまり映ってはいませんが水元公園の大きな池の一角です。

＜撮影：鈴木寿男　2017年4月@東京都葛飾区・水元公園＞







桜のある水辺の風景

毎年目黒川の桜は撮影しに行くのですが、今年の桜は咲き方がまちまちで、それもあってか長く楽しめることができました。

＜撮影：長谷川順一　2017 年 4 月 @ 東京都・目黒川＞



きらきら
桜が散るのが寂しいので写真に。

＜撮影：長井那奈　2017 年 4 月 @ 東京都・善福寺川＞



さよならさくら
桜が散るのが寂しいので写真に。

＜撮影：長井那奈　2017 年 4 月 @ 東京都・善福寺川＞



ひだまりのなかで
天気が良く、満開、とっても綺麗でした。

＜撮影：長井那奈　2017 年 4 月 @ 東京都・善福寺川＞



さくらかも。
桜とかものコントラスト。

＜撮影：長井那奈　2017 年 4 月 @ 東京都・善福寺川＞



春の楽しいお花見スワン

とても大好きな桜スポットです。ピンクのスワンボートと桜のがとても素敵な春を感じます。

＜撮影：竹田真衣　2017 年 4 月 @ 東京都・上野公園＞



いつか乗りたいボート桜

昨年に手術をして療養中の身であるため、今年の桜は見ることができないと思っていましたが、なんとか元気になり花見に行けるほどになりました。今度は池のボートに乗って、いつか桜を見たいと思うと希望が湧いてきました。

＜撮影：小林浩子　2017 年 4 月 @ 東京都・千鳥ヶ淵＞



ボートもフル操業

大勢いの人出に最寄り駅がごった返していました。春を痛感しました。

＜撮影：吉田宏　2017 年 4 月 @ 東京都・千鳥ヶ淵＞



桜のトンネル
東京に来て今春初めて目黒川を訪れました。両岸から川に覆いかぶさる様に咲く桜は絶景でした。

＜撮影：川口裕司　2017 年 4 月 @ 東京都・目黒川＞



桜に包まれて
生まれた時から毎年見てきた景色を作品写真として初めて撮った 1 枚。

＜撮影：八鍬快音　2017 年 4 月 @ 東京都・目黒川＞



最後の輝き

満開を過ぎ、散り際の目黒川の桜。艶やかな美しさが増しているかのようでした。

＜撮影：渋谷敏弘　2017 年 4 月 @ 東京都・目黒川＞



緑の中さくら色

石神井公園の池の周りには緑の木がたくさんで、真ん中あたりに大きく構えている桜の木がとても綺麗だと思い撮影しました。

＜撮影：金子たえな　2017 年 4 月 @ 東京都・石神井公園＞







明日桜
咲き誇る桜のたたずまいに明日への希望を感じました。

＜撮影：北村剛　2017 年 4 月 @ 東京都・千鳥ヶ淵＞



幻燈桜
幻想的な夜桜に惹かれて撮影しました。

＜撮影：北村剛　2017 年 4 月 @ 東京都・目黒川＞





千鳥ヶ淵
毎年ボートに乗って下から桜を見上げて楽しんでいます。東京で一番品格のある桜の場所だと思います。
＜撮影：肥後貴美子　2017 年 4 月 @ 東京都千代田区・千鳥ヶ淵＞



野川

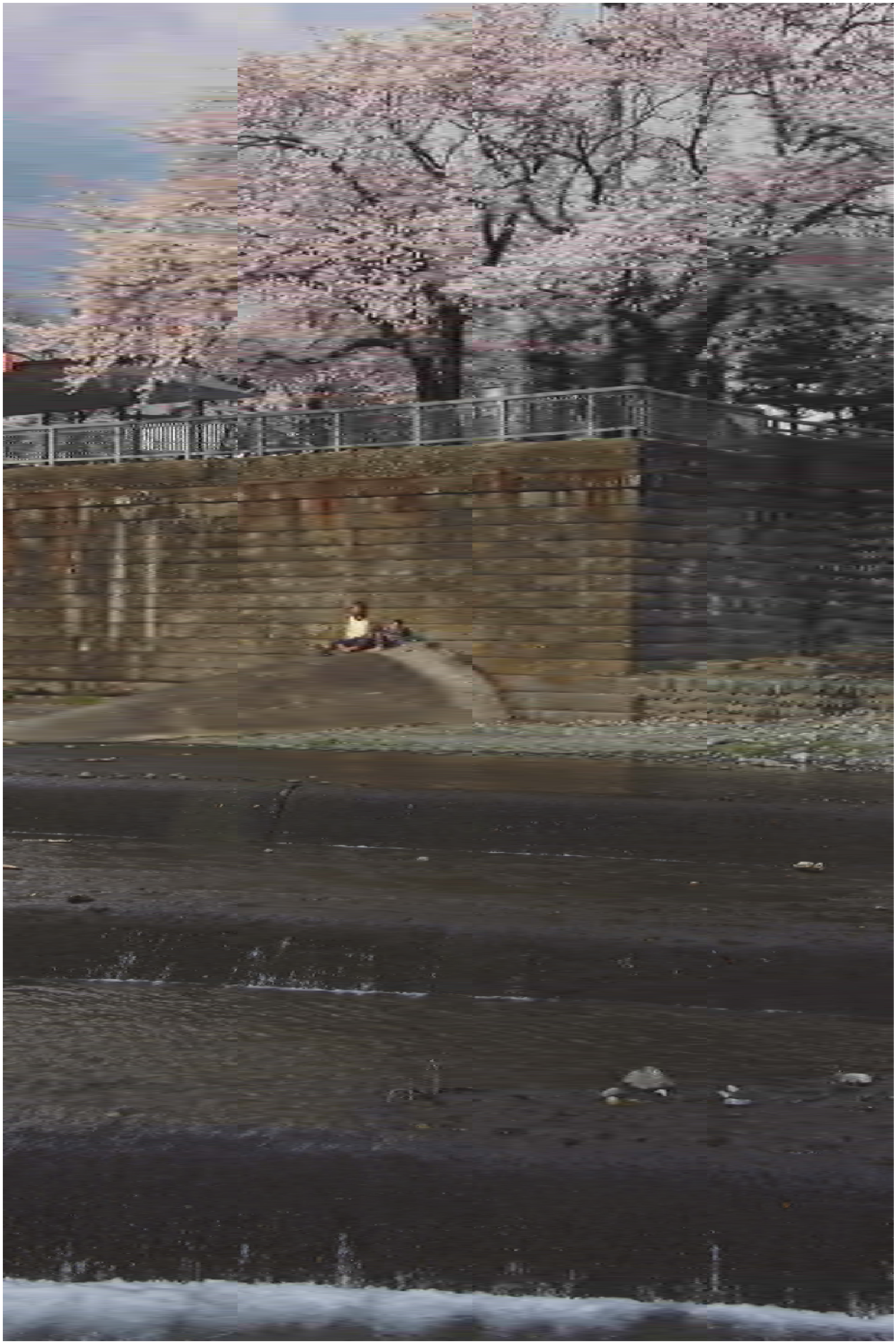
東京の郊外、野川公園から多摩川に合流する川で、東京にしては素朴すぎるくらい自然体の川です。
川の淵に咲く桜、野鳥も桜を見に来ます。

＜撮影：肥後貴美子　2017 年 4 月 @ 東京都世田谷区・野川＞



アルコールの向こう
夜風とほろ酔い加減の心地よさ。

＜撮影：平久保好一　2017年4月@東京都・目黒川＞



取水管の上の春

羽村市は東京都の水の供給源、玉川上水の起点となる市です。羽村取水堰付近は桜の名所でもあり、巨大な取水管の上で誰にも邪魔されずに青春の淡い恋を楽しむカップルの姿が印象的でした。
頭上にも満開の桜が花びらを散らしていました。

＜撮影：小西直昭　2017 年 4 月 @ 東京都羽村市内＞



木の枝が作る額

自然が絵を作ります。木の枝は、それだけで絵を作ります。

＜撮影：川久保咲穂　2017 年 4 月 @ 東京都小石川後楽園＞



花見

四季を楽しむ、自然に触れる、感性が磨かれる。

＜撮影：川久保咲穂　2017 年 4 月 @ 東京都小石川後楽園＞



目黒川シーカヤック夜桜見物
2017 年 4 月 7 日 20 時頃
目黒川沿い桜並木歩道は金曜日で大賑わいでしたが水上は貸切でした。
＜撮影：浦川俊幸　2017 年 4 月 @ 東京都・目黒川＞



野川（調布市）
桜がはらはらと川へ舞い散る様子が本当に美しいです。
＜撮影：工藤涼子　2017年4月@東京都調布市・野川＞



近所に住んでいたのですが、今年初めて目黒川の桜の写真を撮りました。水面に落ちた桜の花びらがとても綺麗でした。

＜撮影：本尾敬之　2017 年 4 月 @ 東京都・目黒川＞



春の夜反射するネオンまでも春の訪れを喜んでいるように感じました。

＜撮影：金　志映　2017年4月＠東京都・神田川＞



東京・目黒川

桜影と水面に浮かぶ花びらがとても美しかったです。

＜撮影：梅原優香　＠東京都・目黒川＞



東京・目黒川
桜橋の桜の花型の隙間からチラリ。

＜撮影：梅原優香　@東京都・目黒川＞



ボートでお花見

千鳥ヶ淵を囲んで満開の桜を幸せそうに二人でボートから眺めている素敵な光景でした。

＜撮影：鈴木寿男　2017 年 4 月 @ 東京都千代田区・千鳥ヶ淵＞



春がいっぱい

千鳥ヶ淵を覆う桜をファンタジックフィルターを使用して撮りました。ピンクの桜と青い水、緑の木や草が淡く春の訪れを感じられるようパステルカラー調のメルヘンチックな絵画の雰囲気を出しました。

＜撮影：鈴木寿男　2017 年 4 月 @ 東京都千代田区・千鳥ヶ淵＞



光と水と
幻想的にさせてくれるのはそこに自然があるからです。

＜撮影：川久保咲穂　2017 年 4 月 @ 東京都千代田区・千鳥ヶ淵＞



隅田川桜のトンネル
近くでみると桜は一方だけに枝を伸ばし、狭い空間に収まっているんですね。

＜撮影：川田貴章　2017 年 4 月 @ 東京都・隅田川＞









淡い春
初めて目黒川へ行きました

＜撮影：河原久美　2017年4月＠東京都・目黒川＞



川べりの桜

花筏が見れると聞いてこの川に撮影に行きました。天気も良く桜も満開でとても気持ちがよかったです。

＜撮影：吉山彰彦　2017 年 4 月 @ 福岡県久山町・猪野川＞



恩田川満開

わが町の宝。恩田川満開です。川岸から大きくせり出す枯木が、川の上にトンネルを作ります。日頃から市民の遊歩道、青葉の時期も美しいですよ。この週末雨で残念ですが、しっとりとした世界もまた良しです。

＜撮影：伊藤英二　2017年4月@神奈川県町田市・恩田川＞







宿河原の桜シリーズ
沢山撮ってみました。人が映らない様注意しました。桜が綺麗でした。

＜撮影：ギザギザ仮面　2017 年 4 月 @ 神奈川県川崎市・二カ領用水＞



宿河原の桜
見物客大勢で人を撮らないよう注意しました
＜撮影：ギザギザ仮面　2017 年 4 月＠神奈川県川崎市・宿河原＞



水面に写る美しい夜桜

とても大好きな桜スポットでライトアップされた桜がとても、美しく春を魅了します。

＜撮影：竹田真衣　2017 年 4 月 @ 神奈川県・三渓園＞



和の庭園美しい桜

とても大好きな桜スポットで和と桜がコラボがとても、美しい場所です。

＜撮影：竹田真衣　2017 年 4 月 @ 神奈川県・三渓園＞



水面を飾る桜花満開

桜の花びらが流れる水面ぎりぎりに桜満開の枝が架かる姿がとても綺麗でした。

＜撮影：遠藤昌彦　2017 年 4 月 @ 神奈川県小田原市・小田原城公園のお堀＞



お堀を飾る桜の並木

桜並木がお堀を飾りとても綺麗でした。

＜撮影：遠藤昌彦　2017 年 4 月 @ 神奈川県小田原市・小田原城公園のお堀＞



桜が見つめる赤い電車

大好きな京急線と、満開の桜を収めたお気に入りの一枚です。高校生の頃から、毎日の通学列車で京急線の車窓から眺めていた桜を、大学からの帰りに途中下車し、初めて桜目線から京急線を眺める瞬間です。

＜撮影：山崎陽　2017 年 4 月 @ 神奈川県横浜市・石崎川＞



桜エール

就活が始まったばかりの時、一次面接でお祈りメールが届いて落ち込み、気分転換に途中下車した先で収めた一枚。満開に咲く桜の散り行く姿がとても美しく、咲き誇ったからこそ散り際も輝いているのだと思った。やるだけやってみよう、そんな勇気を桜が教えてくれた。

＜撮影：山崎陽　2017 年 4 月 @ 神奈川県横浜市・大岡川＞



しばらく散らずに
免許証返納して行動範囲が狭くなった中で、数少ないお気に入りの場所です。
駅から至近の住宅地のそばで自然を残す貴重な所で桜と菜の花が同時に楽しめます。
散り始めた桜が少しでも長く持つように念じながら撮りました。

＜撮影：河津日出男　2017 年 4 月＠神奈川県海老名市・目久尻川＞



最明寺史跡公園の池に咲く桜

最明寺史跡公園は人里離れた松田山山頂付近の地に広がる静謐な公園です。
春には色とりどりの花が咲き乱れ桃源郷のようであり、特に写真を撮った池の周りは桜の木が囲み、水面を草花や樹木が彩ります。
また、斜面に整備された散策路を歩けば野鳥のさえずりや木々の葉擦れの音が心を癒してくれそうです。

＜撮影：遠藤昌彦　2017 年 4 月 @ 神奈川県松田町・最明寺史跡公園＞



高麗大橋

大磯町と平塚市の間を流れる花水川の風景です。
河原から高麗大橋を行き交う人を入れての桜風景になります。
この日は、水もきれいで、さわやかな春の風景を撮ることができました。

＜撮影：渡邉啄磨　2017 年 4 月 @ 神奈川県中郡大磯町・花水川＞



桜と菜の花

大磯町と平塚市の間を流れる花水川の風景です。
川に沿って桜並木があり、河原には菜の花が開いています。
橋の上には桜を写す人を見かけます。長閑な春の風景です。

＜撮影：渡邉啄磨　2017 年 4 月 @ 神奈川県中郡大磯町・花水川＞



山を背にして
大磯町と平塚市の間を流れる花水川の風景です。
桜並木が点在するのですが、ここは背後に高麗山が迫っています。
緑と桜の色と水の流れ、自然の美しさを十分に味わえます。

＜撮影：渡邉啄磨　2017年4月@神奈川県中郡大磯町・花水川＞



干潟と桜

多摩川右岸、羽田空港対岸の殿町キングスカイフロントのスーパー堤防に植えられた若木です。風がさわやかで干潟の野鳥や飛行機で飽きません。少し上流の殿町堤防の桜はまだでした。

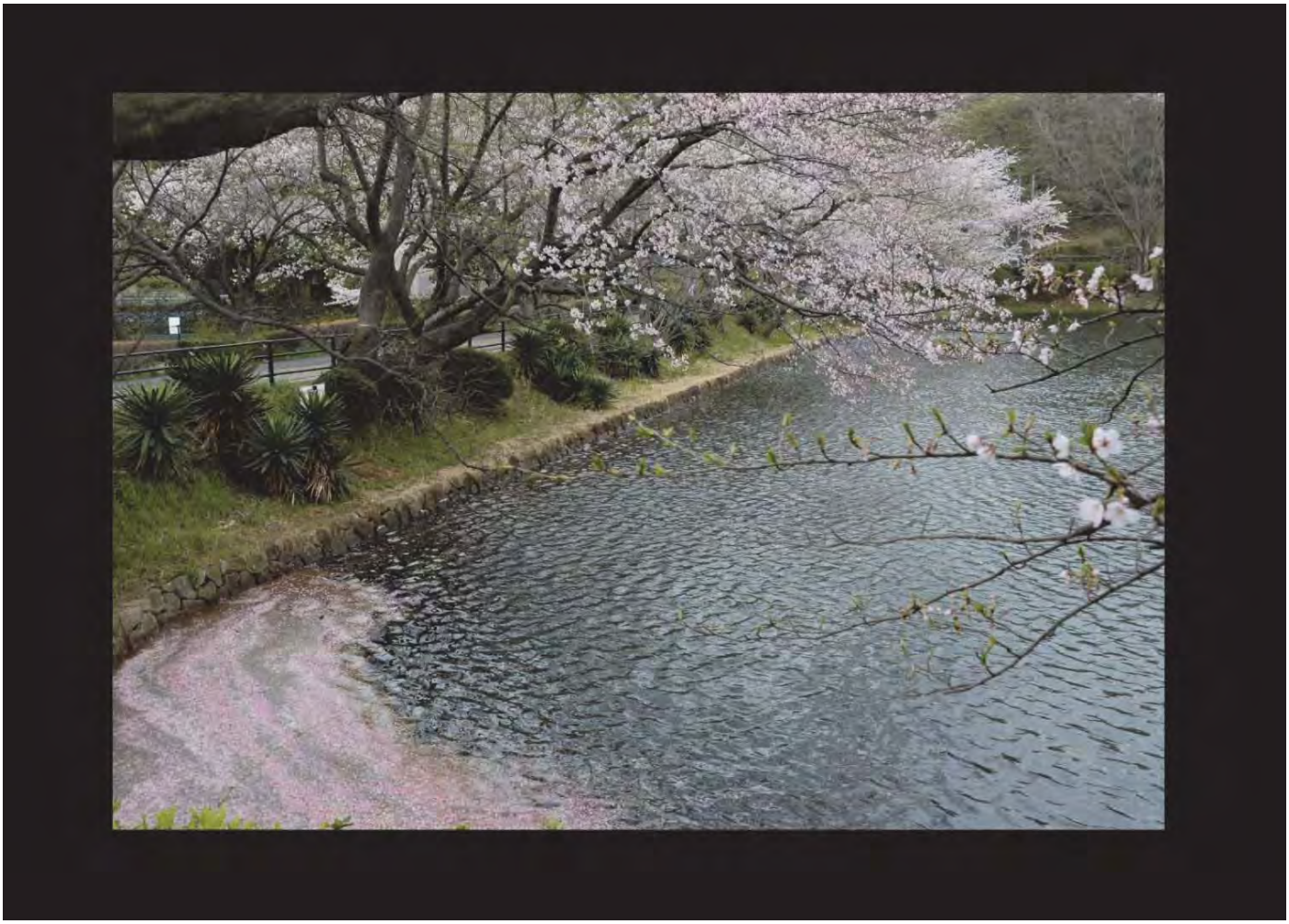
＜撮影：関沢元治　2017 年 4 月 @ 神奈川県川崎市・多摩川＞



ヨシ原と桜

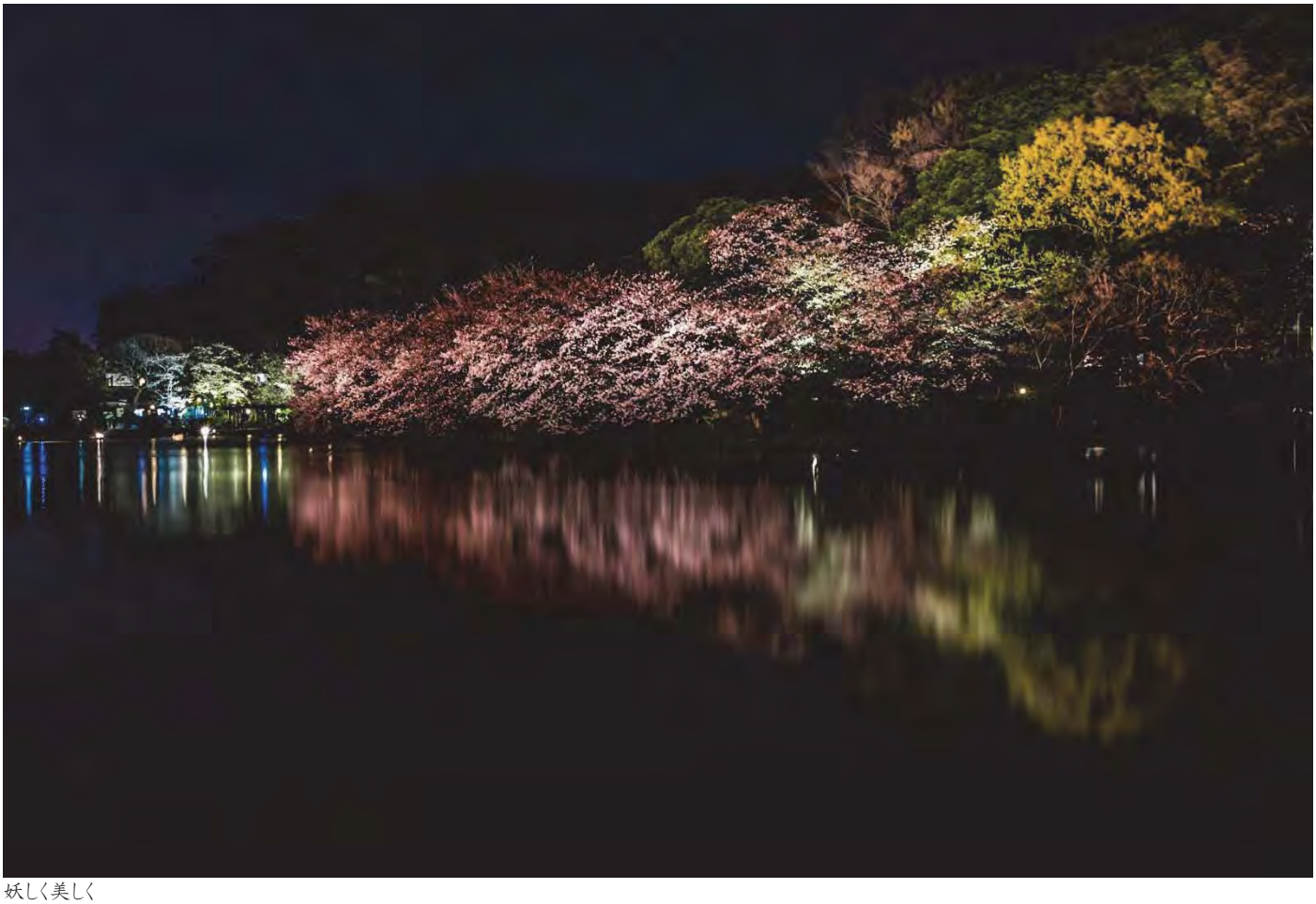
多摩川右岸大師橋下流、殿町堤防の桜です。2年かけてこのあたりの高潮堤防がパラペット構造で整備されました。法尻の桜に影響が無いよう設計されたようです。

＜撮影：関沢元治　2017 年 4 月 @ 神奈川県川崎市・多摩川＞



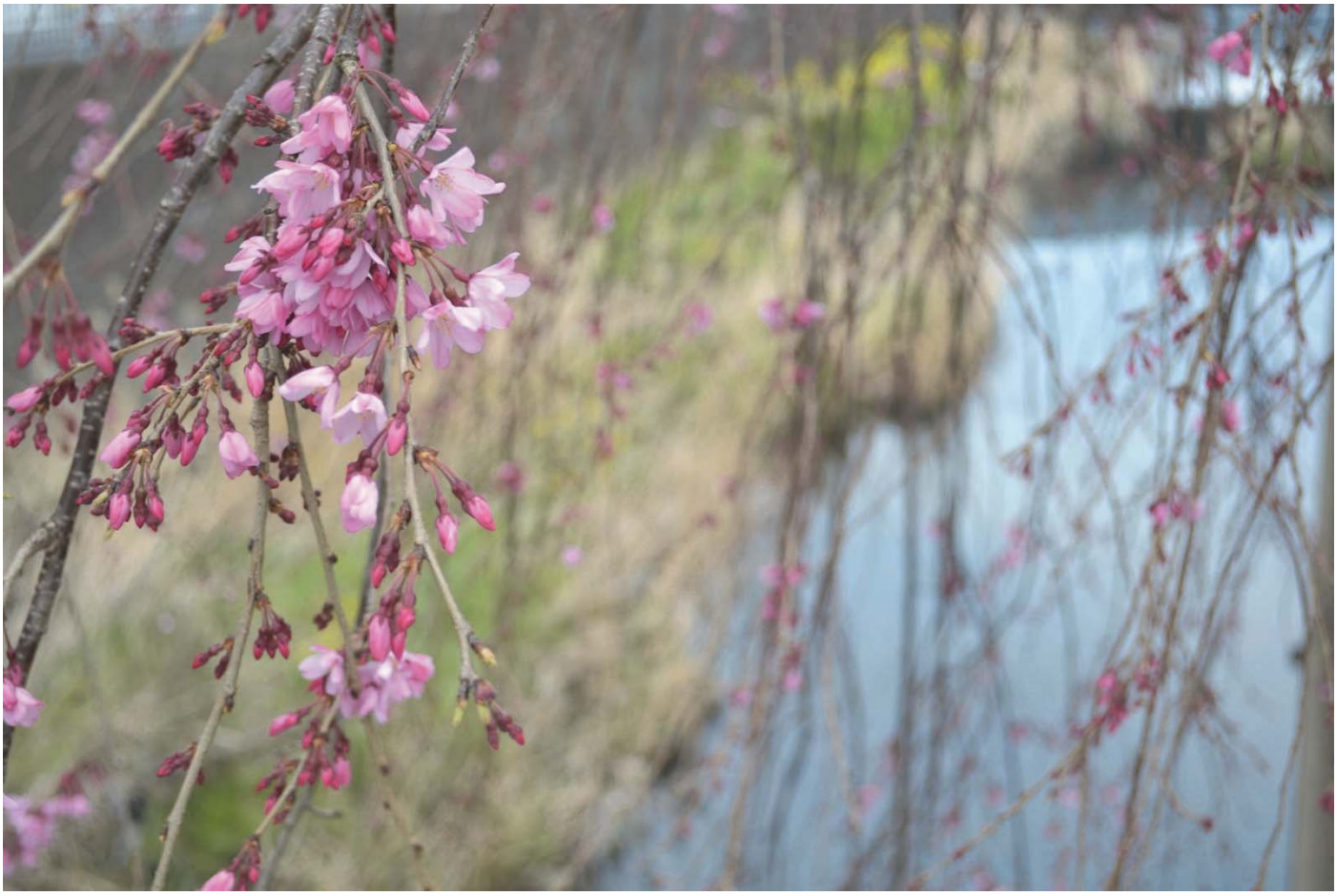
花筏
もう少したてば花筏が完成するでしょう。

＜撮影：吉田宏　2017 年 4 月 @ 神奈川県横浜市鶴見区・県立三ッ池公園＞



妖しく美しく
暗い闇に浮き上がるようにライトアップされた桜。妖麗な美しさに心が高鳴りました。

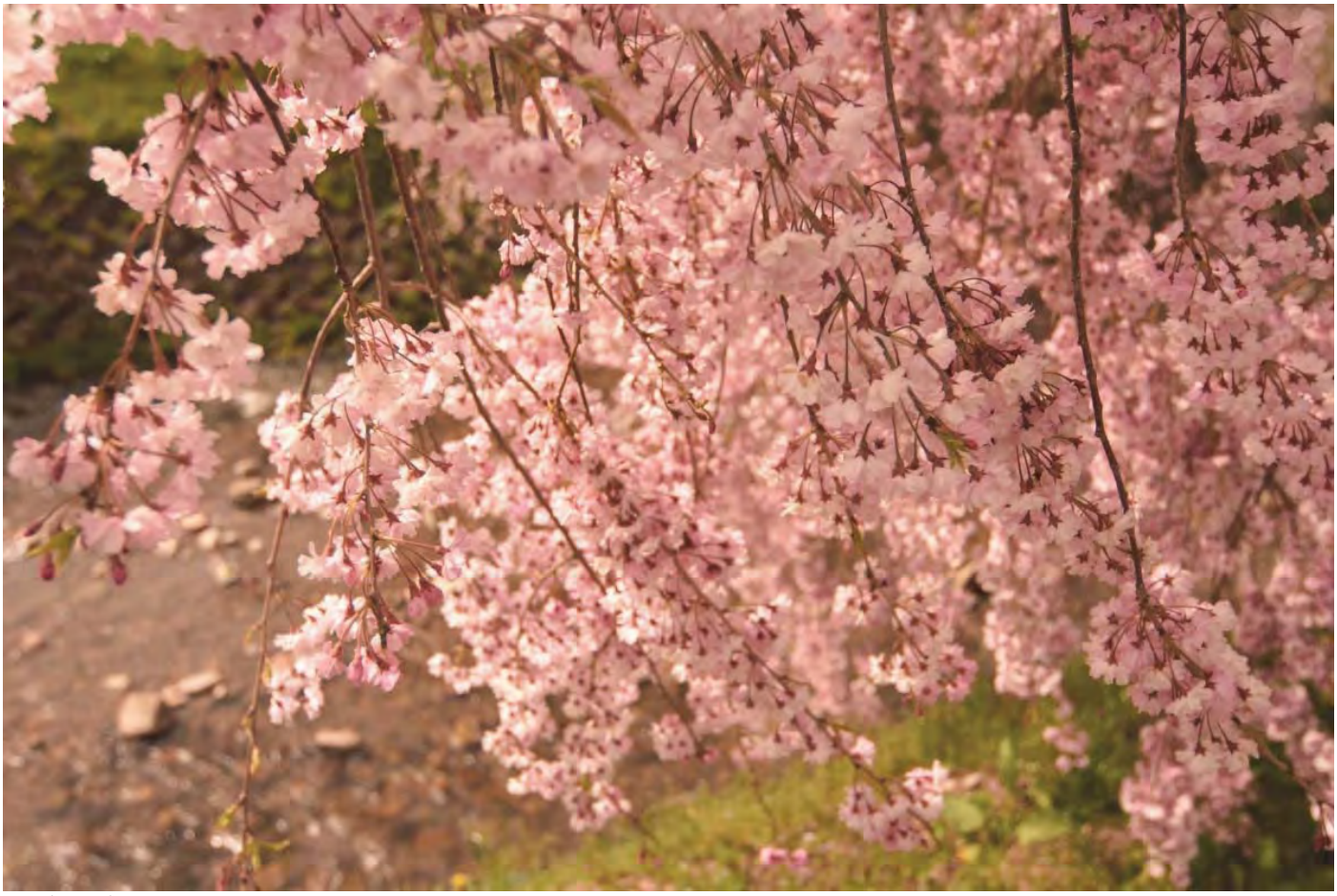
＜撮影：渋谷敏弘　2017 年 4 月 @ 神奈川県横浜市・三渓園＞



川面を背にする枝垂桜

地元の桜の名所で撮影しました。日陰に植わっている枝垂桜ですが、今年も咲いてくれました。

＜撮影：矢島悠樹　2017年4月@神奈川県・阿久和川＞



せせらぎの音

小川の音が写真から聴こえるように意識して撮りました。
この日は 57 年ぶりの飛騨の大祭の日で大賑わいでしたが、小川は落ち着いた流れでとても癒される空間を作っていました。
また水辺の桜は街並みの桜よりもストレスが少なく綺麗に咲く気がします。

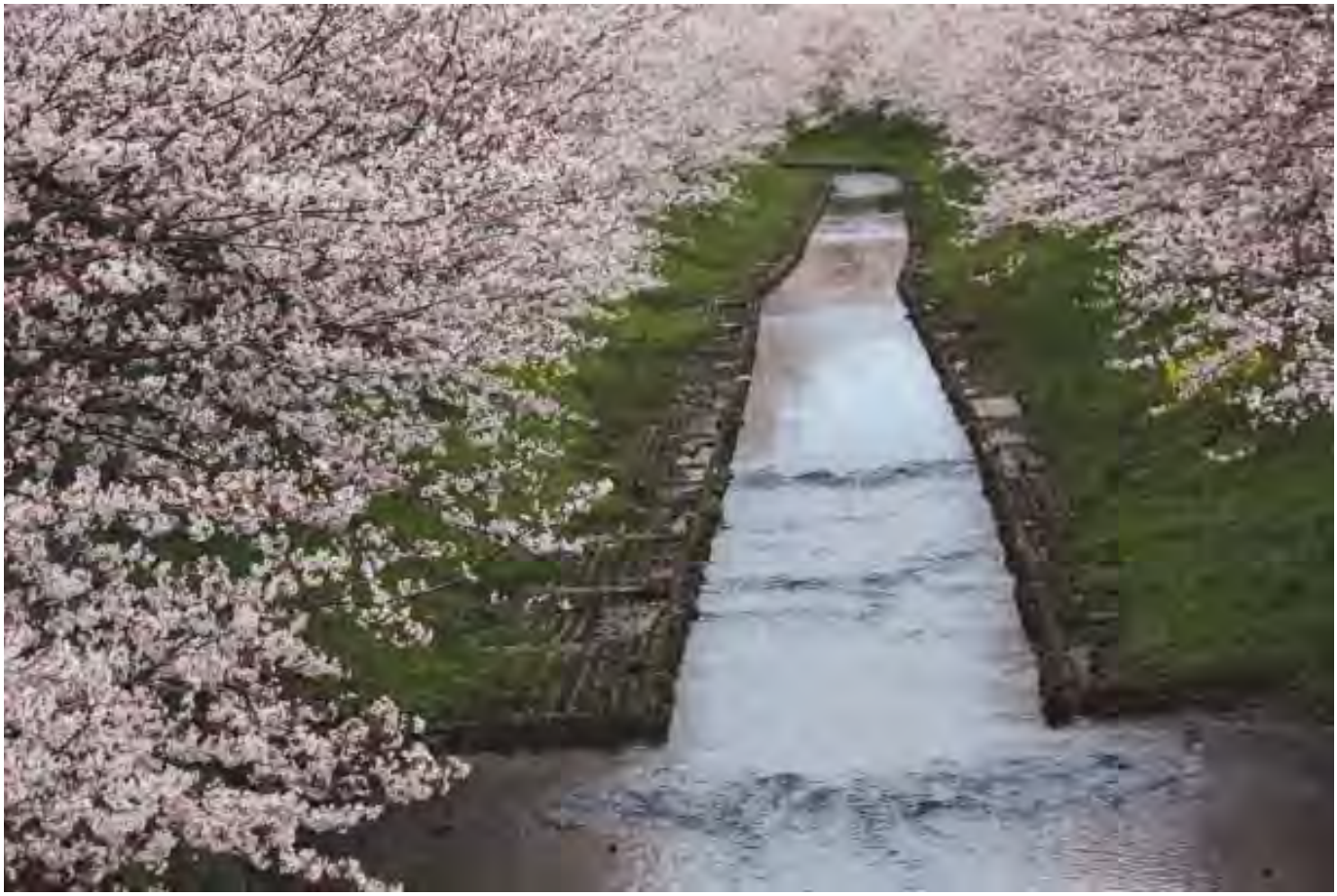
＜撮影：阿部亮汰　2017 年 4 月＠岐阜県高山市＞



巨大桜

近所に咲く大きな桜を撮りました。車と対比し大きさが伝わる様に撮りました。
また下に小川が流れ、どっしり根をはる桜のたくましさも伝わります。

＜撮影：阿部亮汰　2017 年 4 月＠岐阜県高山市＞



一面の桜

桜が河川一杯咲いて驚きました。

＜撮影：吉田隆　2017 年 4 月＠岐阜県大野町＞



電車が通る

河の両端が桜が満開で、列車が通過するのをみんなカメラに撮ろうと待っていた。

＜撮影：吉田隆　2017 年 4 月＠岐阜県各務原市＞



犬山城眼下

初めて犬山城を訪ねる。眼下に悠々と木曽川が流れ、今を咲き誇る桜を入れて撮りました。
最上階の廻縁が外に張り出していて、そこからの遠望になりますが、高所に苦手な身としては、恐る恐るの撮影になりました。

＜撮影：渡邉啄磨　2017 年 4 月＠岐阜県犬山市・犬山城＞



木曽川に沿って

初めて犬山城でした。眼下に木曽川が流れ、天守から張り出している廻縁から撮りました。
高所が苦手なので、ちょっと冷や汗ものでした。
川と道路に挟まれた部分と、ホテルの周囲に桜は満開でした。

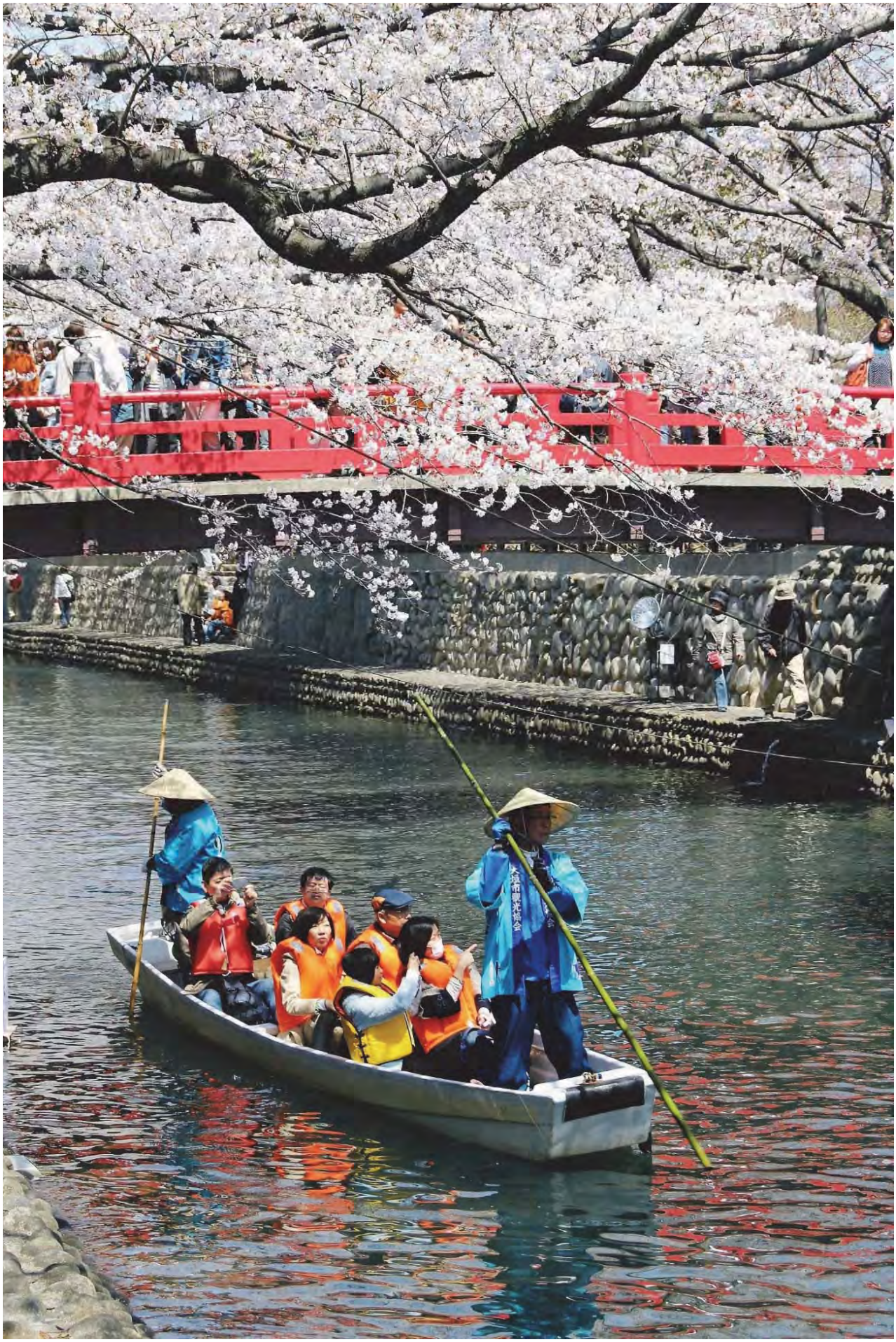
＜撮影：渡邉啄磨　2017年4月@岐阜県犬山市・犬山城＞



水門川の春

大垣城下を流れる水門川沿いの桜は美しく赤い橋がお似合い。

＜撮影：中世古健吾　2017 年 4 月＠岐阜県大垣市船町・水門川＞



水の都おおがき舟下り

満開の桜が咲き誇る中を風流な舟下り。

＜撮影：中世古健吾　2017年4月@岐阜県大垣市船町・水門川＞



墨俣城からの桜

岐阜県の墨俣城で撮りました。川とのバランスがきれいでした 。

＜撮影：細江隆一　2017 年 4 月 @ 岐阜県大垣市＞



世界遺産決定の春
今年はユネスコ無形文化遺産登録記念として高山祭屋台の総曳き揃えが55年ぶりに行なわれました。
桜満開の日に宮川の中橋を渡って行くところです。

＜撮影：小西直昭　2017 年 4 月 @ 岐阜県高山市内＞



新境川と桜まつり

岐阜県各務原市を流れる木曽川水系新境川沿いでは桜祭りが開かれます。出店が出て賑やかです。川に向かって座っている人もちらほらと。見ているだけで楽しい気分になりました。

＜撮影：坂本貴啓　2017 年 4 月 @ 岐阜県各務原市・新境川＞



松尾芭蕉の旅の終着点 奥の細道むすびの地。
あまり知名度はありませんが全国屈指の美しさだと感じます。雨上がりでいつもより水量が多く綺麗な鏡にはなりませんでしたが、これはこれで川の流れが感じられる1枚になりました。

＜撮影:奥田瑛登　@岐阜県大垣市・水門川＞



岐阜県でも屈指の桜の名所です。
バックが山なのであえて雨の日に撮影に向かい雨霧の白色と山肌の黒色で明暗を出してみました。斜面で咲く山桜もいいアクセントですね〜
＜撮影：奥田瑛登　@岐阜県揖斐郡池田町　霞間ヶ渓山から流れる支流で名称不明です。＞



桜色の世界
写真になるまで、見過ごしていた景色。
じっくりと景色を見るようになって、色んなきらめきに気づくことができるようになりました。

＜撮影：比良井しほり　2017 年 4 月＠愛知県名古屋市・山崎川＞

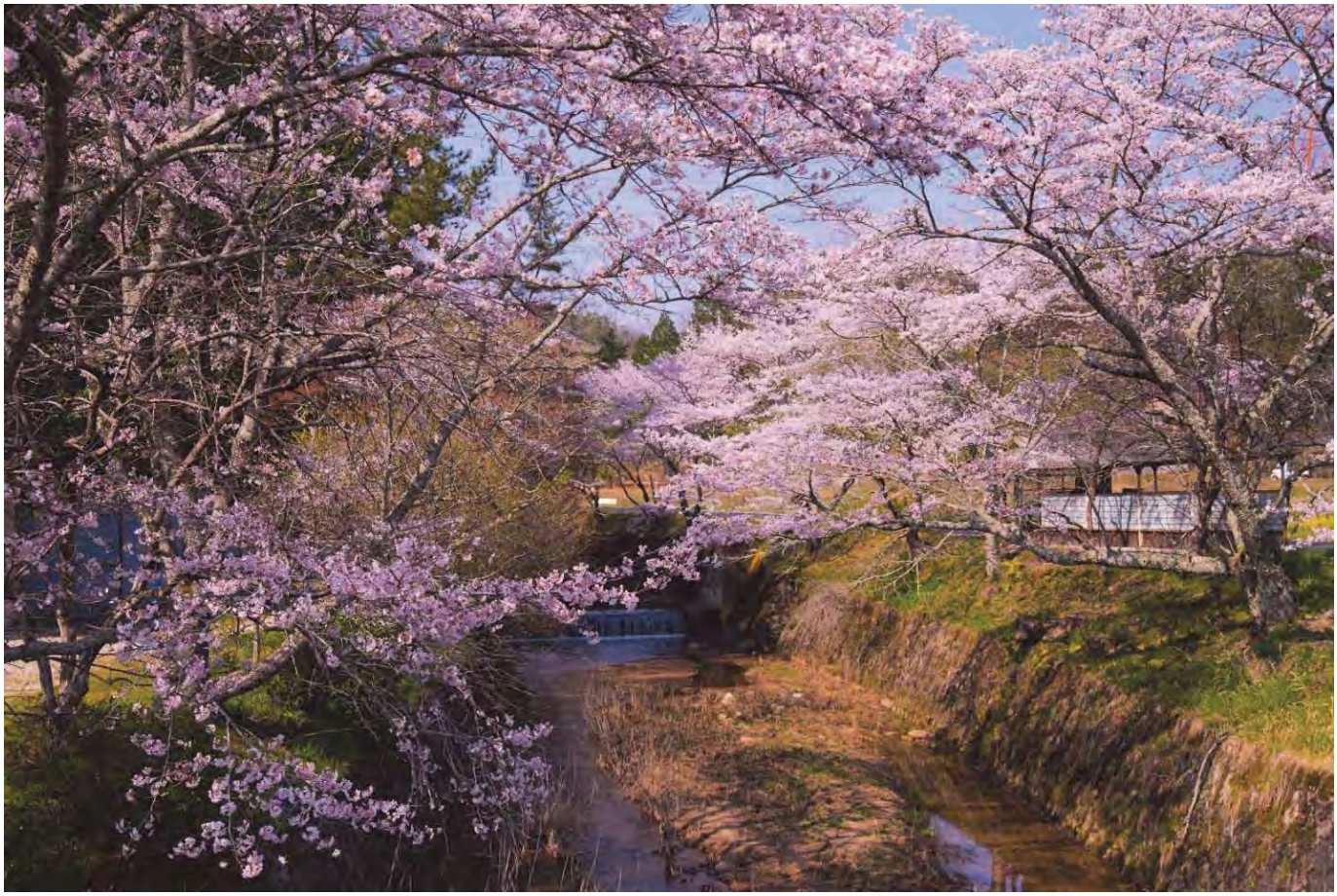


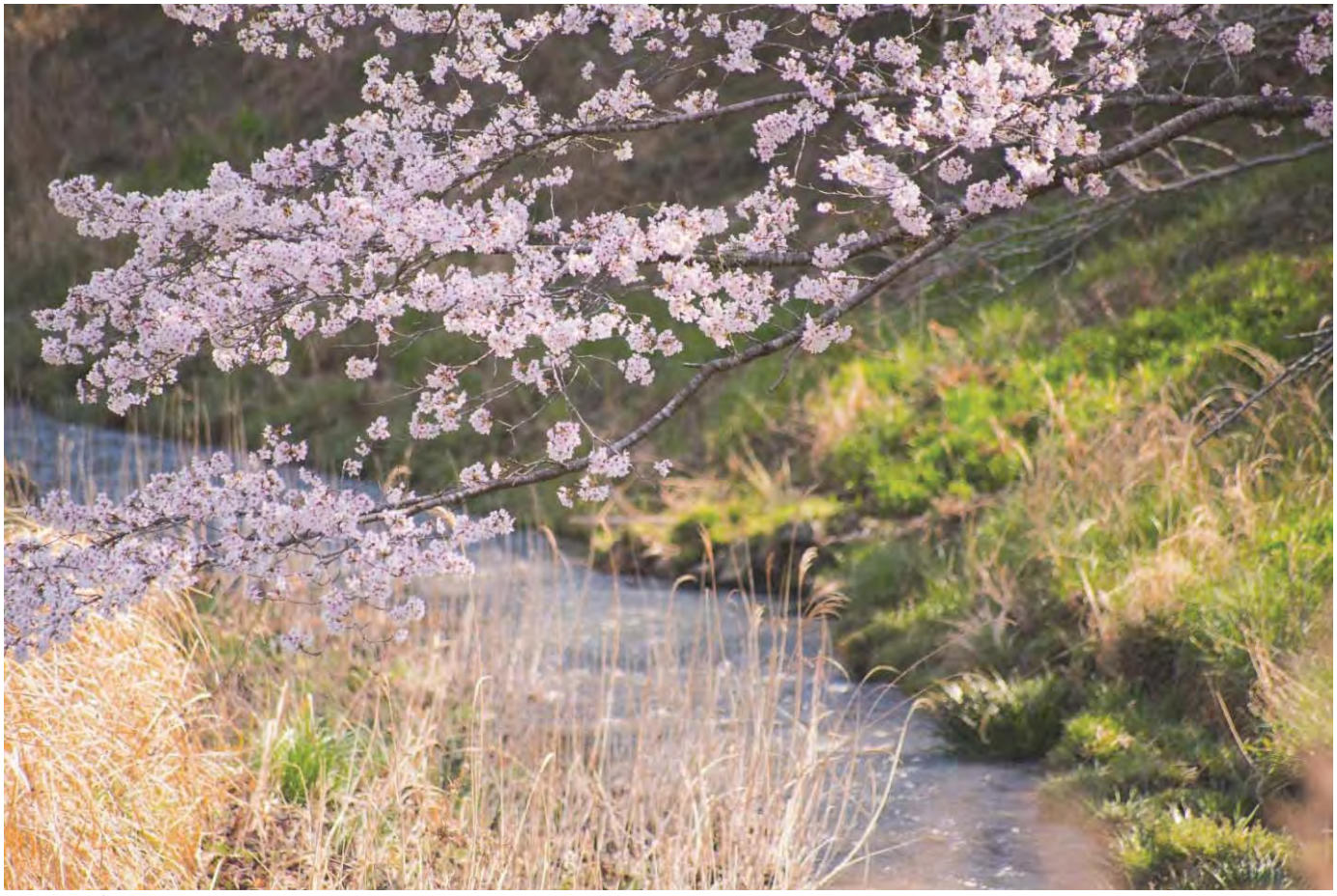
川桜

実家の側の毎年美しく花を咲かせる桜並木の様子を撮りました！

散る頃には川に桜の花びらが散り、川を流れる花びらと木に咲く桜で一相美しい様子を見ることが出来ます！！

＜撮影：山本和生　2017年4月@愛知県豊田市藤岡飯野町＞





小川のほとりで
四季桜などで有名な小原に流れる川のほとりで力強く咲き誇っている桜です。

＜撮影：山本和生　2017年4月@愛知県豊田市小原町＞



SAKURA 色
木には満開の桜。川にも桜の花びら。桜のピンク色が眩しい一枚です。

＜撮影：宮田広志　2017 年 4 月＠愛知県岩倉市・五条川＞



AKURA 雪
桜吹雪が　雪のように 1 つ。また 1 つとヒラヒラ・・・。春の終わりを告げる「雪」です。

＜撮影：宮田広志　2017 年 4 月＠愛知県岩倉市・五条川＞



コラボレーション
桜・花筏。そして菜の花。
春の風物詩を告げるコラボレーション。

＜撮影：宮田広志　2017年4月@愛知県岩倉市・五条川＞



ぬき足・さし足
桜の花筏が流れる川に「コサギ」。
「花より団子」と 抜き足・差し足と、小魚ゲットの為、奮闘中。

＜撮影：宮田広志 2017年4月@愛知県岩倉市・五条川＞



桜のトンネル
川の中程から振り返れば桜のトンネル。
魚になって、鳥になってトンネルをくぐってみたいモノです。

＜撮影：宮田広志　2017年4月@愛知県岩倉市・五条川＞



日の暮れ桜

昔は川に入って遊んでいましたが、今では専ら眺めています。

＜撮影：大川碧子　2017 年 4 月＠愛知県豊橋市東田町＞



桜づくし

桜並木に覆われた五条川・・・“のんぼい（鯉幟）洗い”も行われていて、桜づくしの春を感じさせてくれました。

＜撮影：河内聡　2017年4月＠愛知県岩倉市・五条川＞



お花見デビュー
名古屋市の市街地を流れる堀川です。
ここは名古屋城のお堀に水を流すためにつくられた御用水(開削1663年)の跡が約1.6kmの街園として整備され、多くの市民の憩いの場になっています。
堀川の両岸には桜が植えられており、この季節になると桜の花のトンネルになります。

<撮影:滝宏志 2017年4月@愛知県名古屋市・庄内川水系堀川>



まだ咲き始め（木曽川と犬山城）

ユネスコ無形文化遺産の山車が出る犬山祭を見に行きました。4 月 1 日だったので付近の犬山城と木曽川の桜はまだつぼみでした。

＜撮影：佐合純造　2017 年 4 月＠愛知県犬山市・木曽川＞



五条川と鯉のぼり染め

五条川は愛知県内の桜名所の1つです。東海豪雨で破堤した新川の支川です。土佐藩初代の山内一豊はここの生まれです。水に浮かぶ鯉のぼり（のんぼり洗い）もきれいでした。

＜撮影：佐合純造　2017 年 4 月＠愛知県岩倉市・五条川＞



御囲提の桜

慶長8年(1603年)、徳川家康の命で尾張の国を囲むように築造された木曽川の御囲提の桜です。

明治時代に主に彼岸桜と枝垂れ桜が植樹され、1927年(昭和2年)に国の名勝、天然記念物に指定されました。

<撮影:滝宏志　2017年4月@愛知県一宮市・木曽川水系木曽川>



のんぼり洗い
岩倉市五条川近辺の「コイノボリ」業者が数軒有ります。
この季節「コイノボリ」のノリを洗い落す伝統行事が暖かく成った桜の咲く頃に職人が川に入り作業をする。
観光シーズン(桜の名所)で桜も川沿いに咲き沢山の方が訪れる。

＜撮影:花一彦　2017年4月@愛知県岩倉市・五条川＞



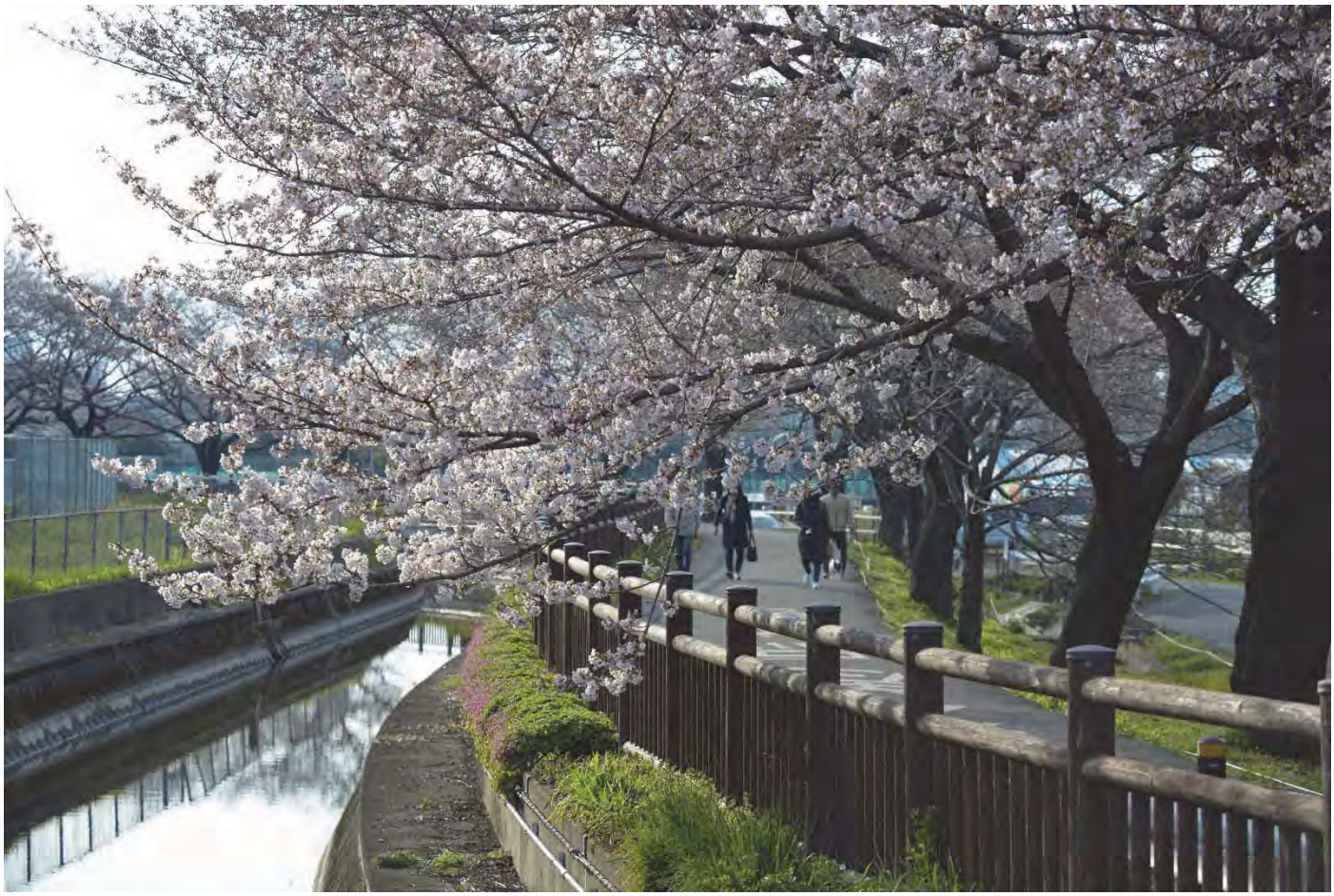
饗宴
豊川市内中心部を流れる佐奈川の桜は菜の花と同時に見られる。

＜撮影：中世古健吾　2017年4月@愛知県豊川市西桜木町・佐奈川＞



初めてHDR撮影しました。水面に映る桜の散った花びらが美しいです。

＜撮影：鯛島慶大　@愛知県・亀城公園＞



憩いの散歩道

日曜日の昼下がり、見沼代用水沿いの散策路には散歩やジョギング、サイクリングなどを楽しむ人々が行きかっていました。見沼田んぼはさいたま市のほぼ中央に位置しています。見沼代用水沿いには桜並木だけではなく斜面林も残っており、市民に愛される憩いの空間となっています。

＜撮影：上原励　2017年4月＠埼玉県さいたま市・見沼代用水西縁＞







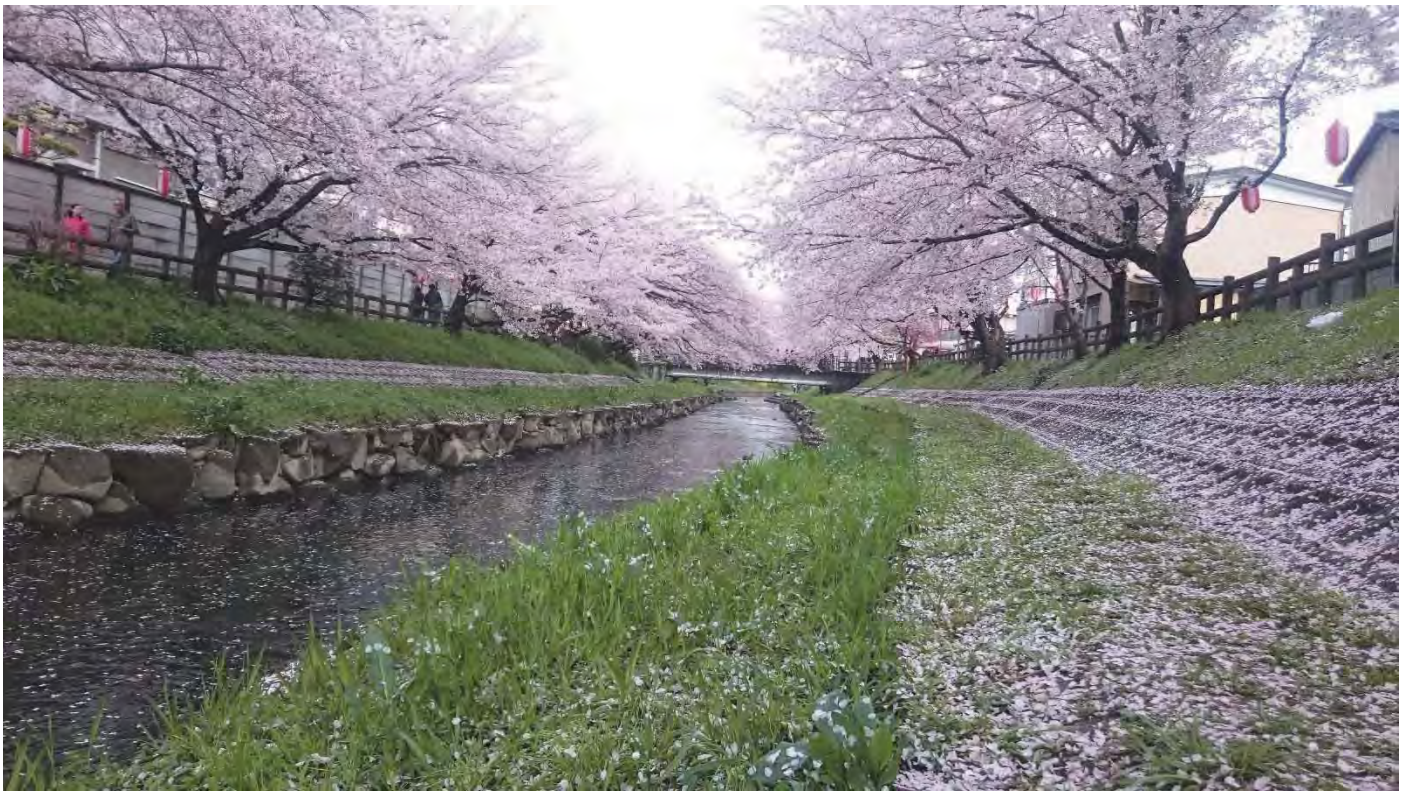


桜川
小江戸にて、桜吹雪の中撮影しました。

＜撮影：辻野たお　2017 年 4 月＠埼玉県川越市＞



霧が濃い日に
午前中しとしと降っていた雨も夕方には止み、あたり一面霧が立ち込めていましたがその中にかすんで立つ桜の木々はなかなか趣のある色を見せていました。
＜撮影：小西直昭　2017 年 4 月＠埼玉県上尾市内＞



春の元荒川

河川敷に降りて水辺を歩いていると、全身で桜の美しさを感じることができ、とても贅沢な時間を味わうことができました。静かな川の流れがその美しさをより一層引き立たせていました。

埼玉県民としてぜひ皆様におすすめしたい水辺の一つです。

＜撮影：中前千佳　2017年4月@埼玉県鴻巣市・元荒川＞



元荒川でお花見―カモと一緒に―

満開の桜に彩られた元荒川沿いを散歩していたら、カモの群れに出会いました。

桜のトンネルの中を穏やかに流れる元荒川は、人々にとってもカモたちにとっても憩いの場になっているようでした。

＜撮影：中前千佳　2017年4月@埼玉県鴻巣市・元荒川＞



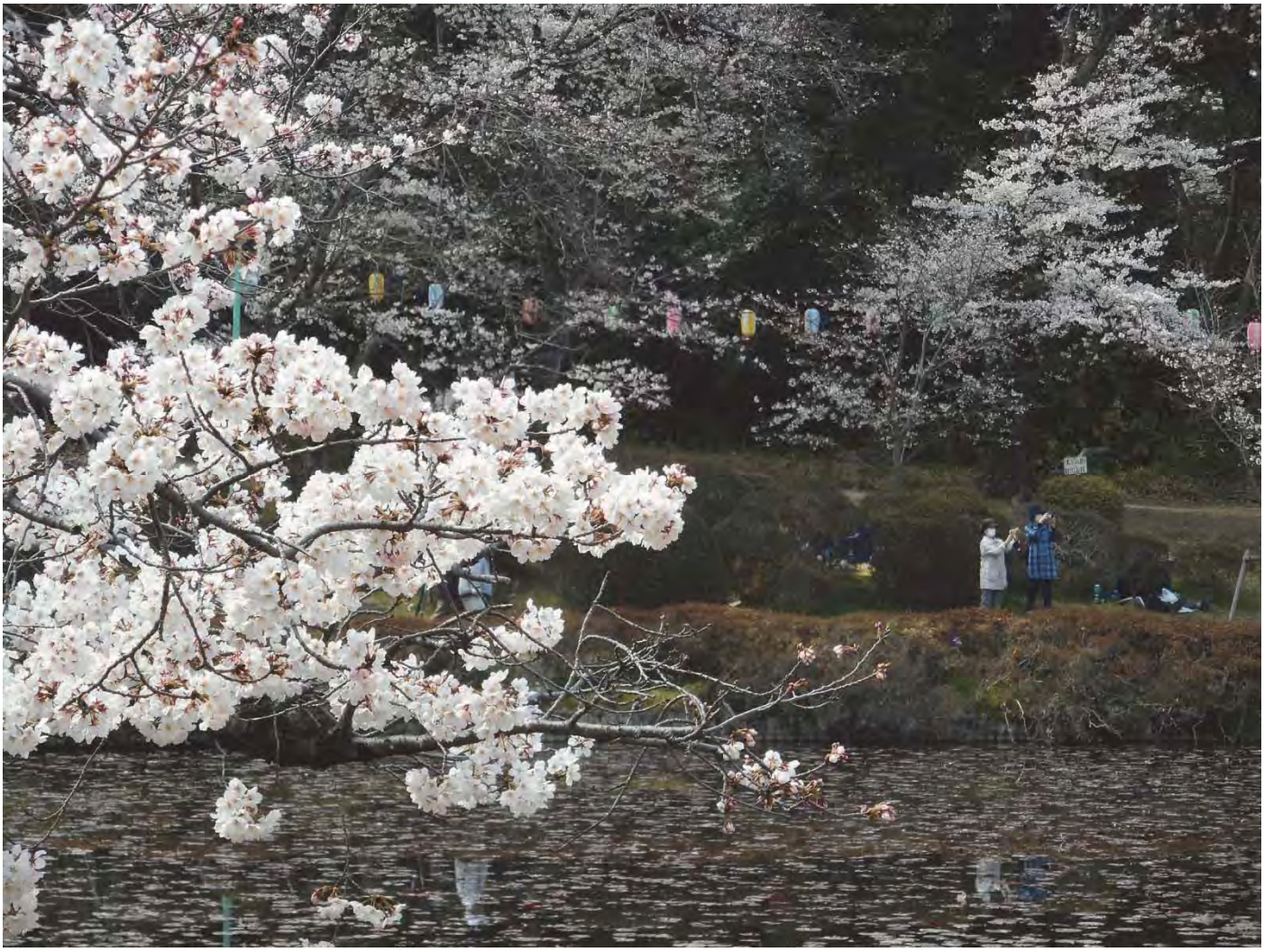
夜桜幻想
所沢の東川の桜ライトアップ
数キロに渡って川沿いの桜が毎年ライトアップされ幻想的な姿を映し出しています。

＜撮影：Takayasu Sasaki　2017 年 4 月 @ 埼玉県所沢市＞



夜桜花筏
所沢の東川の満開の桜の花びらが川面に浮かび花筏を描いていました。

＜撮影：Takayasu Sasaki　2017 年 4 月 @ 埼玉県所沢市＞



いつまでも
いつわかれるかわからないけど
今ここに一緒にいたことを
残しておきたい。

＜撮影：ユカリ　2017 年 4 月 @ 埼玉県さいたま市＞



見沼代用水

見沼代用水には、約 2000 本も桜があるそうです。毎年、桜の開花を楽しみにしております。

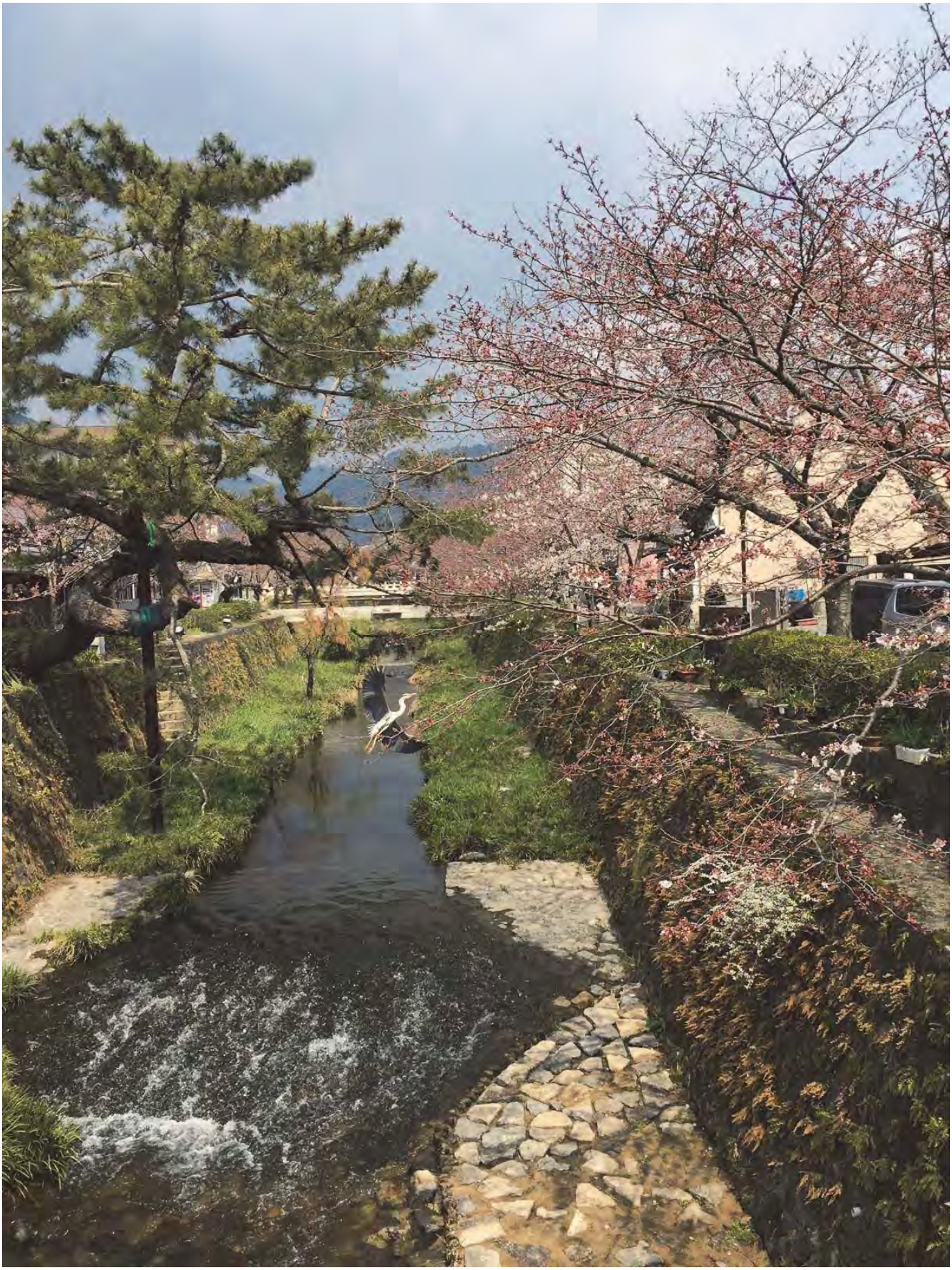
＜撮影：都築隆禎　2017 年 4 月＠埼玉県さいたま市緑区大崎・見沼代用水＞



芝川の桜は間に合わず

のんびり見沼代用水の桜を見ていたら、芝川に着くころには夕暮れとなっていました。

＜撮影：都築隆禎　2017 年 4 月＠埼玉県さいたま市緑区大崎・芝川＞



山口での風景

祖父、祖母を温泉旅行に連れて行ってあげた時の一枚です。

＜撮影：古谷誠太郎　2017 年 3 月＠山口県・湯田温泉＞



満開の桜と小さなダム
豊北に用事があってバイクで走っていたときに、目に飛び込んできた風景。
2本の桜の下から見えるダムがきれいだった。

＜撮影：田中信　2017年4月@山口県下関市菊川町＞



河津桜と瀬戸の造船所
この地区の春一番は、小高い公園に咲く河津桜だと思う。
例年の満開は2月末か3月の上旬だが、今年は早かった。
桜の枝越しに見遣る、瀬戸内の漁港（造船所）、青い海、行き交う船の情景は、春の訪れに相応しい！
＜撮影：山縣敏夫　2017年2月@山口県熊毛郡上関町・城山歴史公園＞



桜と柳と噴水
街中にある所謂「都市型公園」で、市民の憩いの場所となっている。柳と噴水が桜に映える。
＜撮影：山縣敏夫　2017年4月@山口県岩国市・長山公園＞



桜トンネル＠川縁の土手
毎年の花見時分には、市内数カ所の花見巡りをする。この場所は必ず行くことにしている。
＜撮影：山縣敏夫　2017年4月＠山口県岩国市・今津川縁＞



錦帯橋の桜風景
例年の花見には、必ず錦帯橋に来る。
今年の花見時は雨が多くて、この日だけのワンチャンスだった。
錦帯橋は四季の顔を持つが、やはり"桜"が一番似合う！
＜撮影：山縣敏夫　2017年4月＠山口県岩国市・錦帯橋＞



吉香公園の桜景色

例年の花見は、錦帯橋(錦川の河原)で、弁当を開く。
写真を撮りながら、隣接の吉香公園の桜を愛でる。
桜の映える池には、白鳥・亀・鵜・鴨が彩りを添える。

＜撮影:山縣敏夫　2017年4月@山口県岩国市・吉香公園＞



静かな佐合島の桜

自分の名字と同名の佐合島を訪れました。人口20人余、佐合の名字の家はありませんでした。佐合島唯一の小川のそばでひっそり咲いていました。

＜撮影:佐合純造　2017年4月@山口県平生町・佐合島の小川＞



船上の愉悦
大阪市内を流れる大川は旧の淀川である。両岸に桜並木が続き、川岸の造幣局の「桜の通り抜け」とともに市民が春を満喫する景色が繰り広げられる。
＜撮影：飛山光弘　2017年4月@大阪市北区・毛馬桜宮公園＞



ひとりだけの遊覧船

大阪市内を流れる大川は旧の淀川である。両岸に桜並木が続き、川岸の造幣局の「桜の通り抜け」とともに市民が春を満喫する景色が繰り広げられる。

＜撮影：飛山光弘　2017 年 4 月 @ 大阪市北区・毛馬桜宮公園＞



花よりサッカー

大阪市内を流れる大川は旧の淀川である。両岸に桜並木が続き、川岸の造幣局の「桜の通り抜け」とともに市民が春を満喫する景色が繰り広げられる。岸辺を砂場に改造したエリアではビーチバレーの公式試合も行われる。

＜撮影：飛山光弘　2017年4月@大阪市北区・毛馬桜宮公園＞



雨にも負けず

大阪市内を流れる大川は旧の淀川である。両岸に桜並木が続き、川岸の造幣局の「桜の通り抜け」とともに市民が春を満喫する。江戸時代には、同地は船宿などが８軒並んでいたことから「八軒家浜」と呼ばれるようになり、京（伏見）と大坂を結ぶ「三十石船」と呼ばれる過書船のターミナルとなるなど、淀川舟運の要衝として栄えた。

＜撮影：飛山光弘　2017 年 4 月 @ 大阪市中央区・大川・八軒家浜船着き場＞



水ぬるむ

大阪市内を流れる大川は旧の淀川である。両岸に桜並木が続き、川岸の造幣局の「桜の通り抜け」とともに市民が春を満喫する。川辺の砂場では幼児たちがもう水遊びしている。

＜撮影：飛山光弘　2017 年 4 月 @ 大阪市・大川・毛馬桜宮公園＞





青い春／桜観光

桜は一年に少しの時期しか咲かない花ですが、一番大好きな花です。
来年もまた撮りに行きたいです。

＜撮影：大和涼太　2017 年 4 月 @ 大阪府・大阪城公園近辺＞



水都大阪春爛漫

水の都大阪の夜景は、光で満ち溢れていました。
水辺の桜や橋はライトアップされ、水陸両用バスが進むと、桜色を映す水面がきらめいていました。

＜撮影：笠井忠　2017年4月@大阪府大阪市中央区・天満橋(大川)＞



夜の美
自宅近くの素敵な夜。

＜撮影:河合都章　2017年4月@大阪府八尾市・玉串川＞









流れに散る
地元にこんな桜の名所があることを知りませんでした。

＜撮影：奥野誠　2017年4月@大阪府高槻市・新川桜堤公園＞



ある晴の日
毎年見に行きますが今年はいつもの反対側から。

＜撮影：河合都章　2017年4月@大阪府大阪市・第2寝屋川＞



咲く誇る大阪城堀沿いの桜

大阪城へ出張の合間に行きました。たくさんの見学者で賑わっていました。外国人が目立ちました。

＜撮影：佐合純造　2017 年 4 月 @ 大阪市・大阪城の堀＞



ど迫力の桜ノ宮橋

快晴の空に橋と桜が映えてのびのび迫力のある写真が撮れました。

＜撮影：井上小希子　2017年4月@大阪府・桜ノ宮橋＞



花見に向かう人々

大川にかかる天満橋を造幣局の桜の通り抜けに向かう人々と桜を一緒に撮りました。

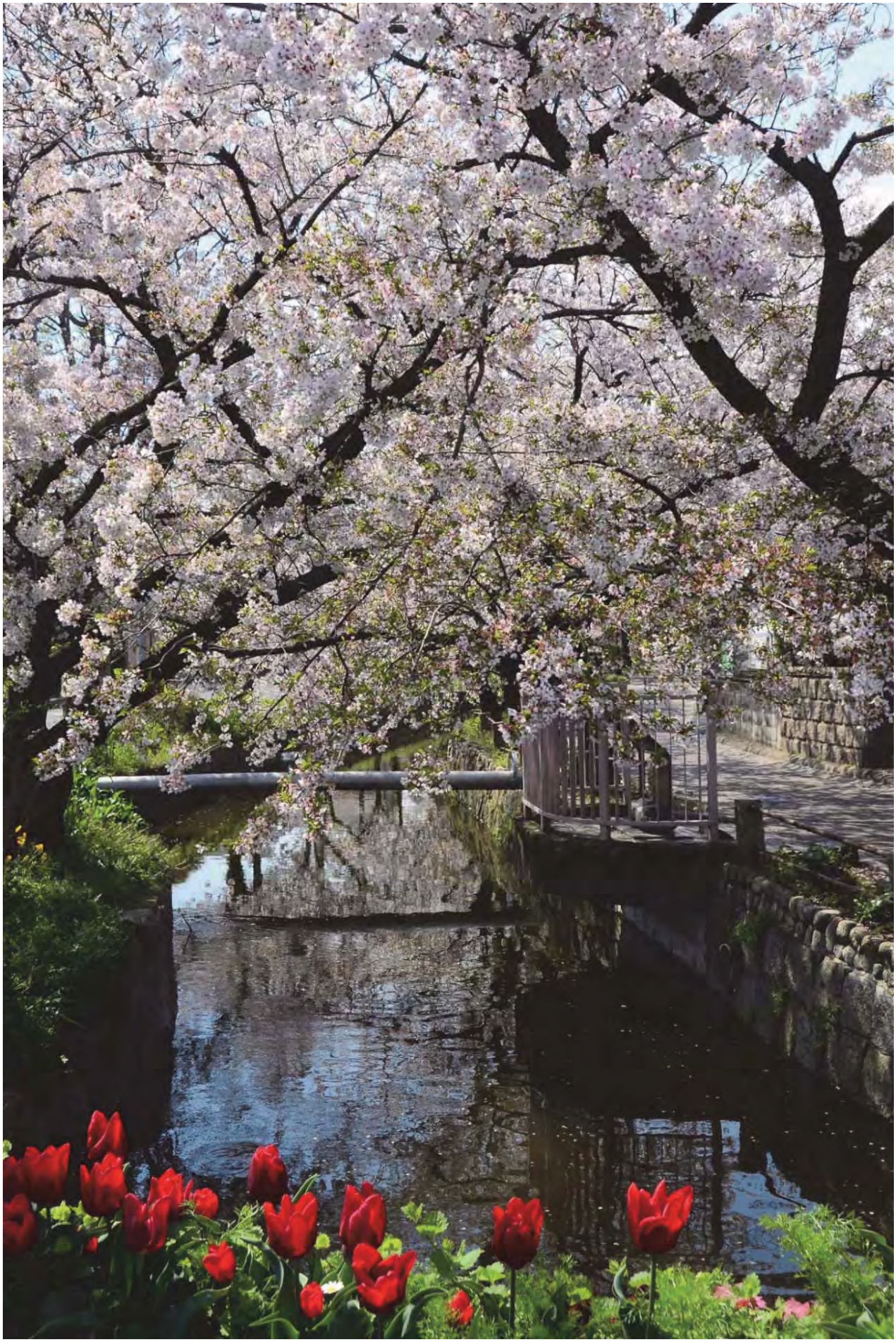
＜撮影：井上小希子　2017年4月@大阪府・大川＞



アヒルちゃんが来た！

曇っていたけれど花見を強行。どんよりとしたグレーの空と淡いピンクの桜と、アヒルちゃんのくっきりした黄色のコントラストにハッとして、思わずパチリ。天気がよくない日でもこんな美しい光景があるんだと、なんだか得をした気分でした。

＜撮影：室山理奈　2017年4月＠大阪狭山市・狭山池公園＞



春日和
景色・そよ風・花の匂いとすべてが春です。

＜撮影：河合都章　2017 年 4 月＠北大阪府八尾市・玉串川＞



ただいま甲羅干し中

暖かい春の日、池の周りでたくさんのカメが甲羅干しをしていました。
桜吹雪が舞い、桜もそろそろ終わりかな？と少し寂しい気持ちになっていた時、甲羅に花びらがどんどん張り付いても知らん顔して日向ぼっこしているカメを見て、思わずクスッ。日本の優しい風景だなあと、ほっこりしました。

＜撮影：室山理奈　2017 年 4 月 @ 大阪府堺市深井・水賀池公園＞



夜桜
LED の照明で桜が生き生きとしていた。

＜撮影：伊達兼敏　2017 年 4 月 @ 大阪府寝屋川市・打上緑地公園＞



夜桜三昧

昼間は見られない光景、LEDの色が変わる度に感動を覚える。
池にも映り込み綺麗だった。この池は大雨が降った時、川の水量が増えた時に流れ込むように造った池です。

＜撮影：伊達兼敏　2017年4月@大阪府寝屋川市・打上緑地公園＞



桜色街道

蛇行する有田川を吊り橋の上から眺めると、満開の桜に沿道が桜色に染まって見えました。いつまでも失いたくない大切な風景です。

＜撮影：落合鋼　2017 年4月 @ 和歌山県有田川町＞



有田の春

四季折々の草花が楽しめる自然豊かな有田川流域。どこまでも続く桜並木に思わず息をのみました。

＜撮影：落合鋼　2017年4月@和歌山県有田川町＞



支流の桜

山深い谷川にある桜は、いつの頃からここで咲いているのでしょう。雄大なときの流れを感じさせる桜の木に感動しました。

＜撮影：落合鋼　2017年4月@和歌山県有田川町＞



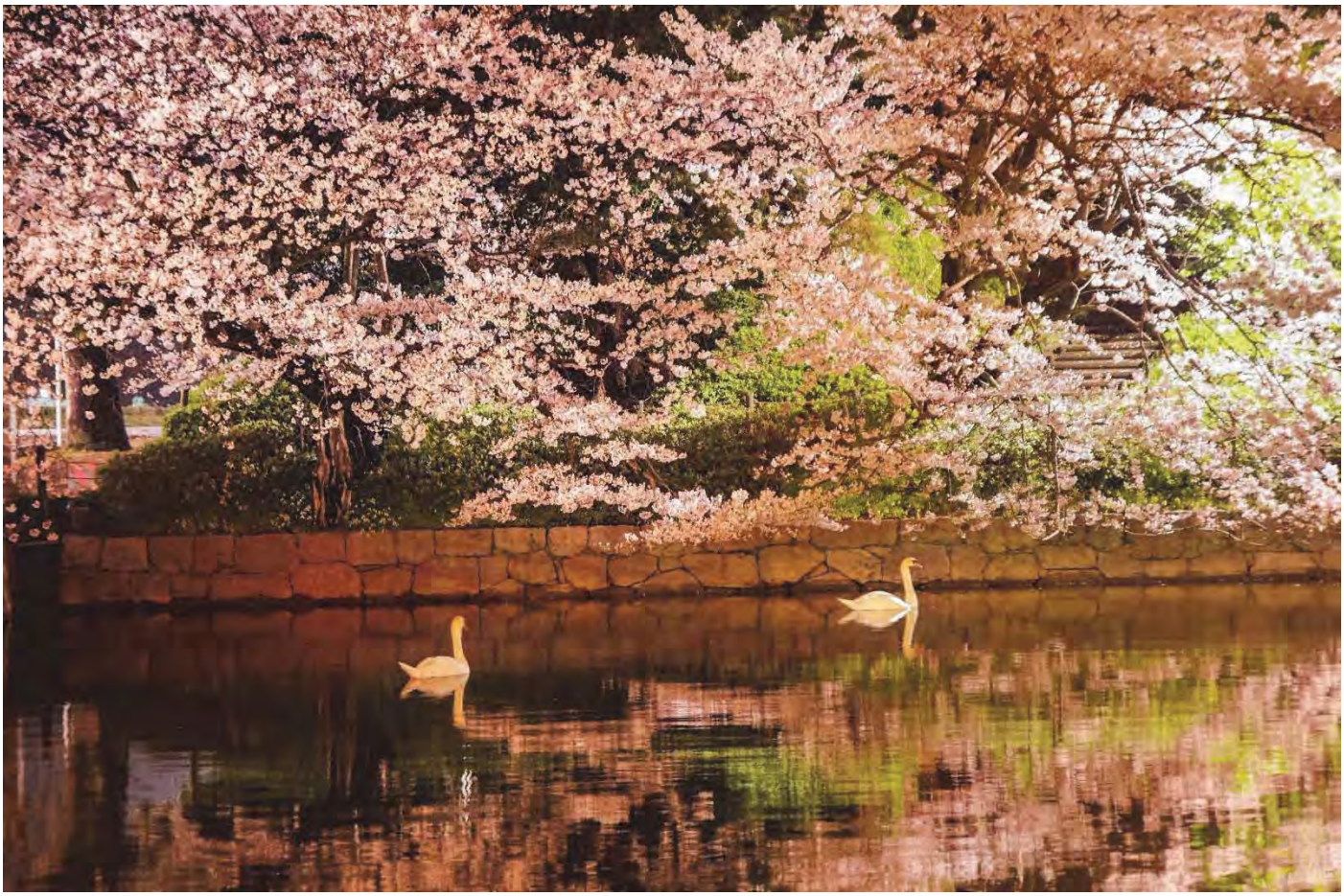
桜ツーリング
桜色の風を切ってツーリング。乗っていなくても爽快感が伝わってきました。

＜撮影：落合鋼　2017年4月@和歌山県有田川町＞



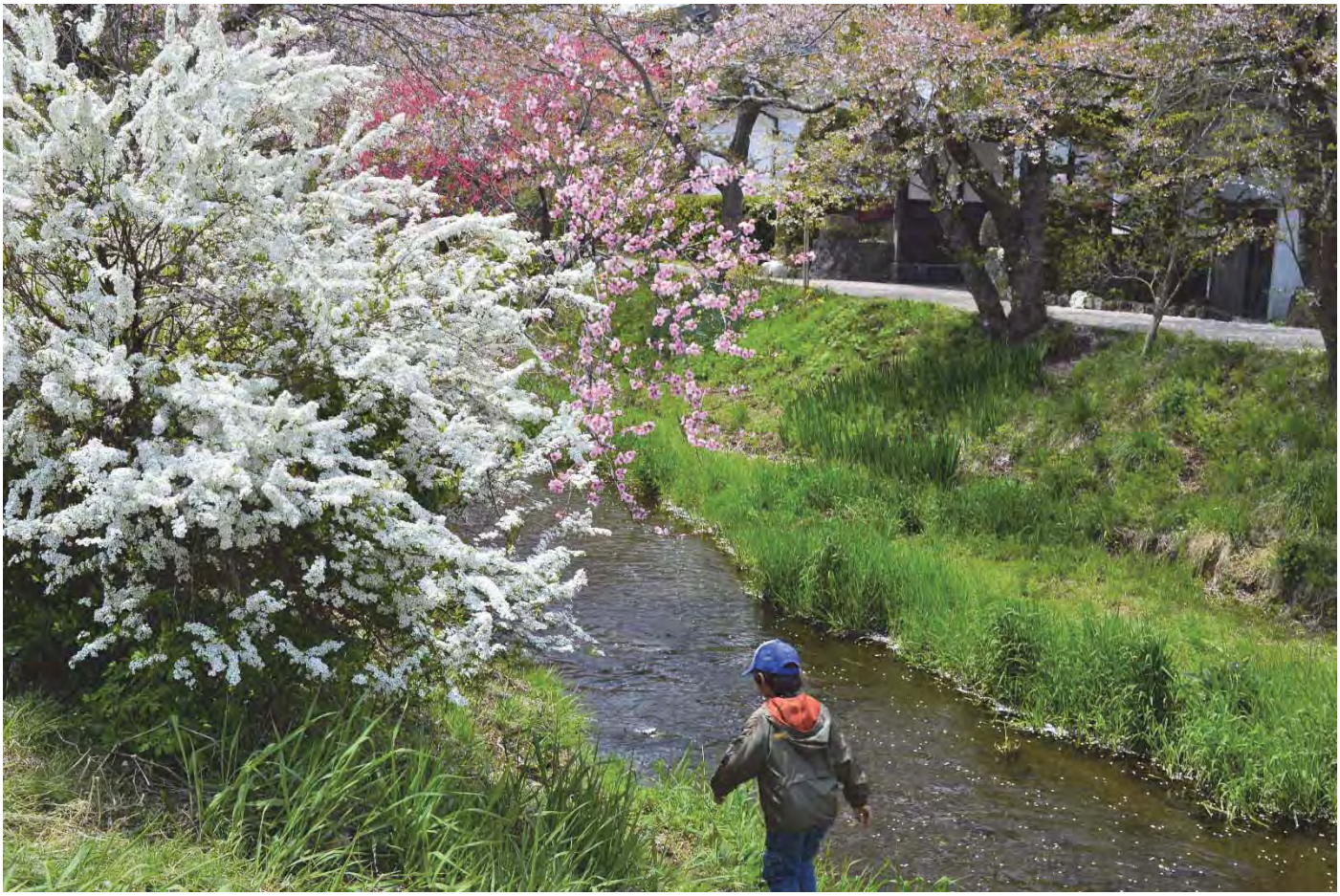
元気に遊ぶ子ども
島原城で堀の河で魚を網で採ったりして元気に小学生が遊んでいました。

＜撮影：吉田隆　2017 年 4 月＠長崎県島原市島原城＞



桜の下の遊泳
桜の下で白鳥が泳いでいました。

＜撮影：成松 和司 2017年4月@愛媛県松山市堀之内＞



忍野八海近くの花が続く川

忍野八海に行ってみたら、近くに花が続く川がありました。

＜撮影：川田貴章　2017 年　5月＠山梨県・新名庄川＞



高瀬川は、京都市内と伏見を結ぶ舟運のため江戸時代の初期に建設された運河。今では街中のオアシス的存在。川岸を花見がてらそぞろ歩くもよし、対岸の飲食店街は、絶好の花見宴会スポット。多くの市民、観光客で賑わっておりました。大河ではないが、こんな川が水辺も桜も間近で良いですね。

＜撮影：伊藤英二　2017年4月@京都府京都市・高瀬川＞



満面春

桜と、それを反射する小川。緑、空、優しい一人ぼっちの雲も相まって桜の笑顔が撮れました。日本の春の美しさには毎年感動します。

＜撮影：舘本隆慈　2017 年 4 月＠京都府亀岡市千歳町国分後田・さくら公園＞



春のひととき

桜の花見名所であり子供たちは水辺で遊び皆が一日中楽しく集えるところです。大江山連峰から爽やかな風が舞い降りてくる最も春を感じれる場所で老夫婦の我々老夫婦も毎年楽しんでいます。

＜撮影：三宅憲二　2017 年 4 月 @ 京都府与謝野町・野田川＞



京爛漫

満開の桜・川一面に桜の花びら・桜の着物を着た外国人と、春いっぱいです。

＜撮影：河合都章　2017 年 4 月＠京都府京都市・哲学の道横・白川琥水通＞



賀茂川
京都府立植物園の側を流れている賀茂の「半木の道」という遊歩道に、紅枝垂桜の並木道がつづく。
紅枝垂桜は、舞妓さんの花かんざしの様です。

＜撮影：肥後貴美子　2017年4月@京都府京都市左京区・賀茂川＞



夜の高瀬川

京都　夜の高瀬川　ネオンと川に写った桜が独特の怪しさを醸し出す。

＜撮影：高木勇　2017年4月@京都府・高瀬川＞



一緒に水遊び

散った花びらが池で気持ちよさそうに、ぷかぷか浮いているようでした。

＜撮影：Sanae Shirai　2017 年4月 @ 京都府京都市・神泉苑＞



嵐山の桜
中の島公園から対岸の嵐山の桜をみています。下には桂川が流れています。

＜撮影：米山直昭　2017 年 4 月 @ 京都府京都市右京区嵐山＞





ぎをんの春色
自分にとっては見慣れた場所をスマホで撮ったみたら、改めて京都を感じた。

＜撮影：平木新助　2017年4月@京都府京都市東山区・白川辰巳橋＞



さんざん泣きはらした夜に

やりきれない思いを勝手に抱えて家を出た。何人目か覚えないけど、人とぶつかった後、目に入った桜。ムカつくほど、美しかった。

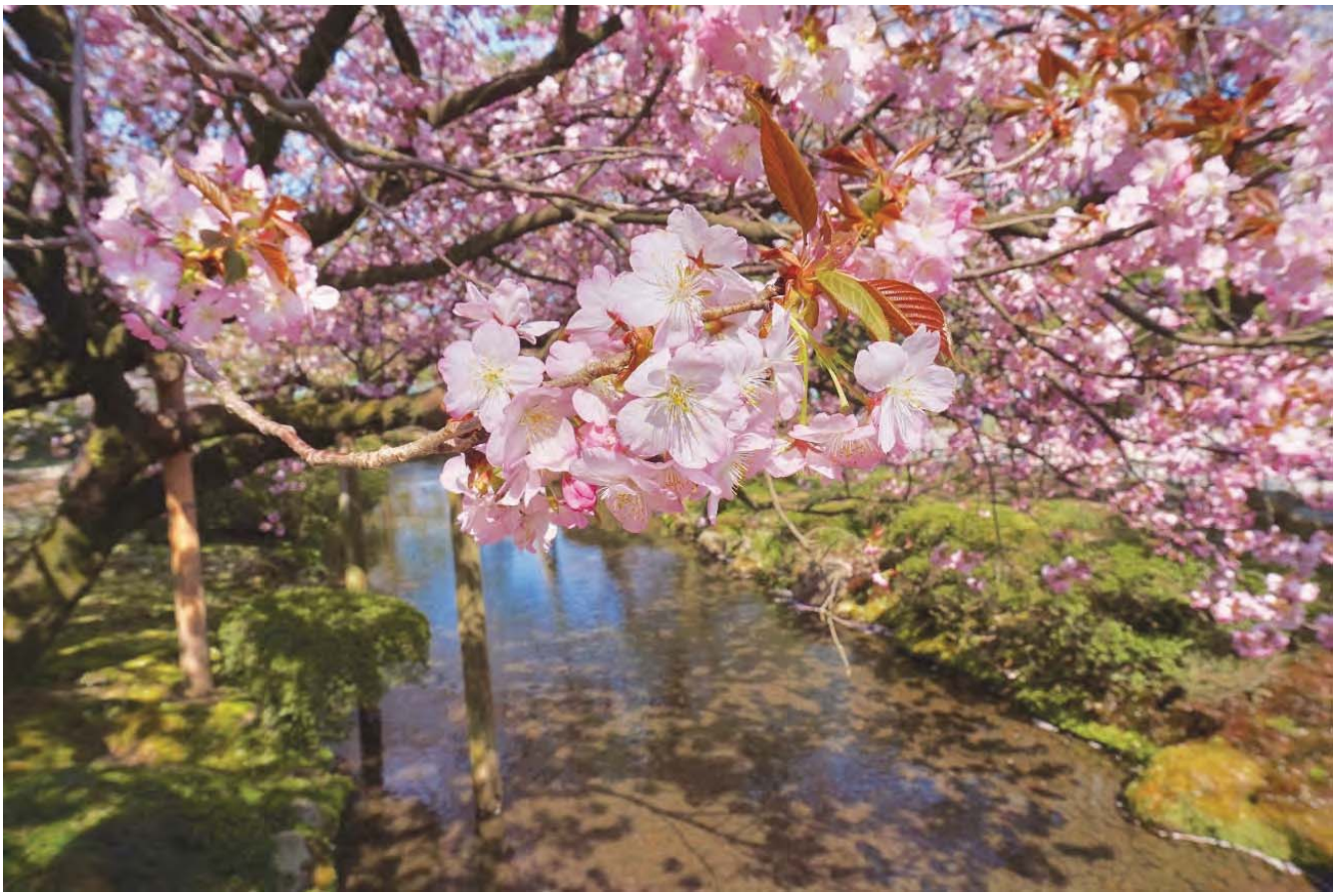
＜撮影：雪村あかり 2017 年 3 月＠京都府中京区中島町＞



随心院の桜

京都の桜を見に出かけたときの写真です。
カメラを買い替えたばかりで、まだ慣れていないのですが、なんとなくお寺の落ち着いた雰囲気が出ていればいいなと思います。
桜と水辺は本当に合いますね。

＜撮影：渡辺浩子　2017 年 4 月 @ 京都府・随心院＞





美しさに場所は関係ない

日本三大庭園である兼六園の桜と京都の地元の桜、場所も格式も違いますが、同じ桜としてそれぞれの美しさを放っていると思い、それをお伝えしたく応募しました。

＜撮影：久保沙永　2017年4月@石川県金沢市兼六園及び京都市左京区疎水＞



桜の土手に村まで続く道

堤防に咲く桜の向こうに村に向かう道が見える。ここにも生活に結びついた桜がある。

＜撮影：小葉田亨　2017年4月@島根県雲南市・斐伊川＞



いつまでも続いて欲しい風景

今年の桜は天候に恵まれませんでしたが、どうにか昔ながらの風景を撮影することが出来ました。

＜撮影：戸口昌彦　2017年4月@岡山県岡山市北区建部町福渡（JR津山線）・旭川＞



新緑の季節

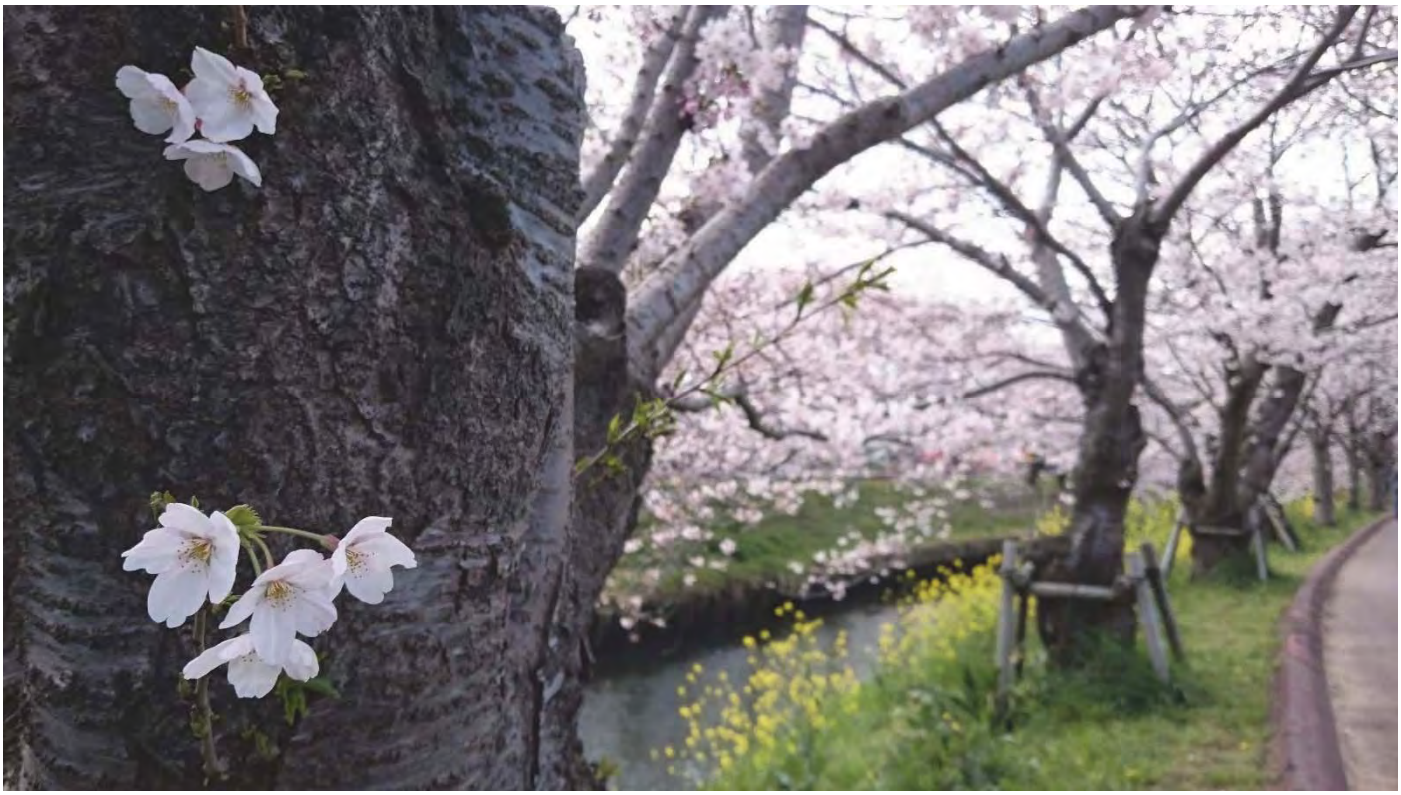
今年の桜は天候に恵まれませんでしたが、どうにか昔ながらの風景を撮影することが出来ました。

＜撮影：戸口昌彦　2017年4月@岡山県岡山市北区御津金川（JR津山線）・宇甘川＞



幻想の刻
岡山市で人気撮影スポットです。夜桜が池に写る‥
幻想的な雰囲気。この日は池の水が流れ落ちた花びらが流れてさらに幻想的でした。

＜撮影：花一彦　2017 年 3 月＠岡山市中区福泊地区＞





海老川(えびがわ)ジョギングロード

桜と菜の花の競演に迎えられ、寝ころんだ耳元にそうそうと流れる水の音。桜のカーテンからこぼれる光。ハルウララ。ウタタネウタタネ。春の海老川は贅沢な憩いの水辺である。

＜撮影:いとうさやか　2017 年 4 月@千葉県船橋市中央部を流れる海老川水系本流の二級河川＞



手賀沼の桜

小雨混じりの曇天でしたが、人も少なく自然の姿を撮ることができました。

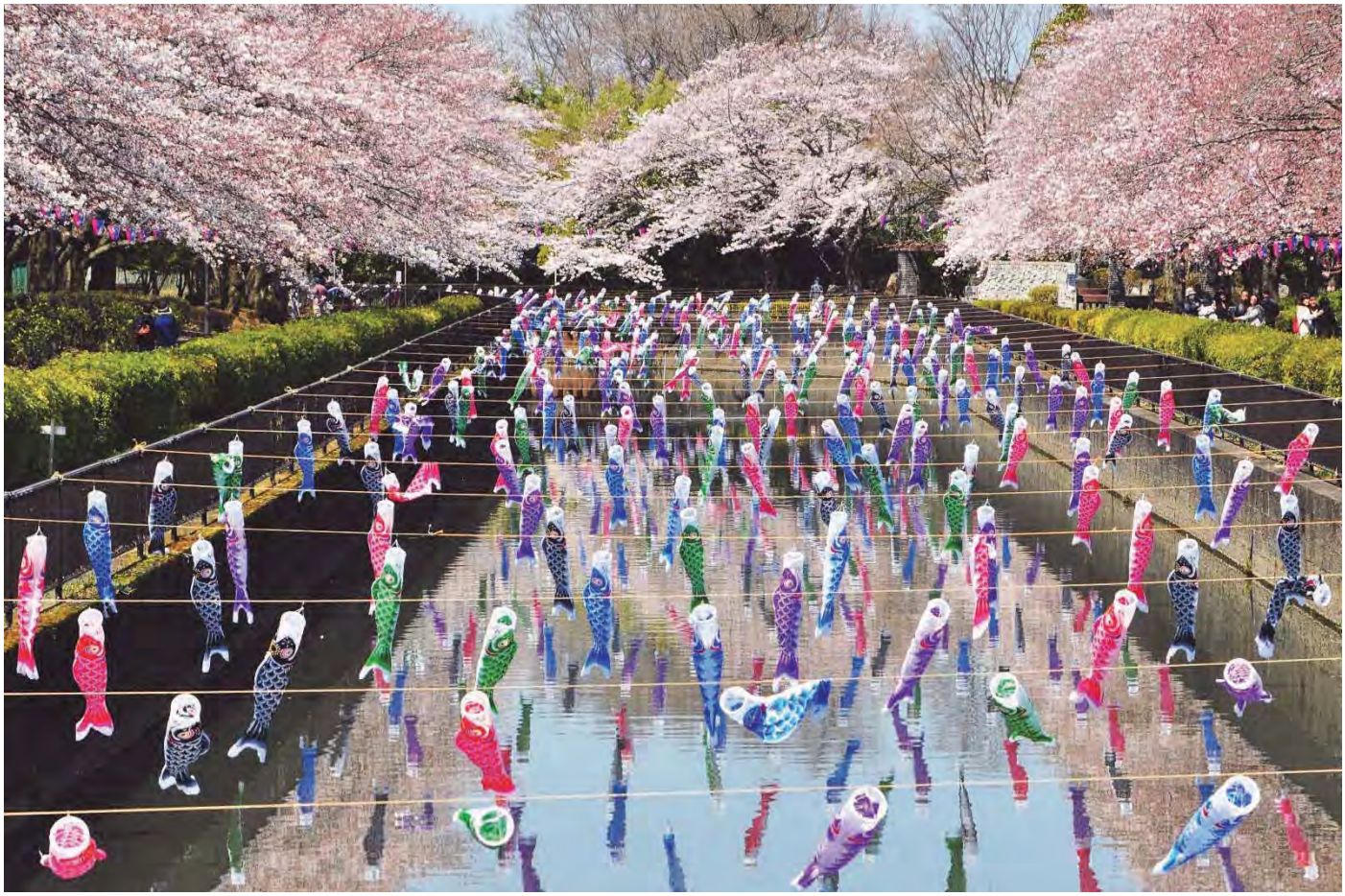
＜撮影：鈴木寿男　2017年4月@千葉県我孫子市・手賀沼＞



春木ノ夜桜

日本一汚い川に何度も選ばれている春木川ですが、桜の季節には川沿いが桜で覆い尽くされ圧倒されます。特に夜になると夜桜と提灯の優しい色合いで見た者に感動と優しい気持ちの贈り物をしてくれます。通行者も少なく、穴場なので夜桜を独り占めした気分になれます。そんな春木川の魅力を少しでもこの写真で伝えられたらなと思います。

＜撮影：土屋和佳奈　2017年4月@千葉県市川市・春木川＞



春風をまつ

水辺に多くのこいのぼりが蔓の空に泳ぎたくて風を待つ、毎年たくさんの見物客が訪れる人気スポットだ。

＜撮影：高橋洋　2017 年 4 月＠群馬県館林市・鶴生田川＞



米山の桜並木

わが故郷、こどもの頃に魚釣りや虫取りなどで出かけた九十九(つくも)川の風景。4月前半の週末は肌寒かったり雨だったり。中旬になって暖かになったこの日曜日、浅間山が見下ろす九十九川沿いの米山の桜並木では、満開で桜吹雪の舞い散る中、お花見の人たちが訪れていました。

＜撮影：上原励　2017年4月@群馬県安中市・九十九川（米山橋より上流を望む）＞



嶺村の池畔の桜

河岸段丘に上に発達した集落の池畔の桜です。明治中ごろまで嶺村と呼ばれた地域で、その入り口にあたるこの集落で私は生まれ育ちました。写真正面の石垣の下に段丘崖からの湧水を溜める池があり、生活用水として使われていたようです。梅の花が咲くころには、毎年ヒキガエルが産卵に集まり、よく観察に訪れました。

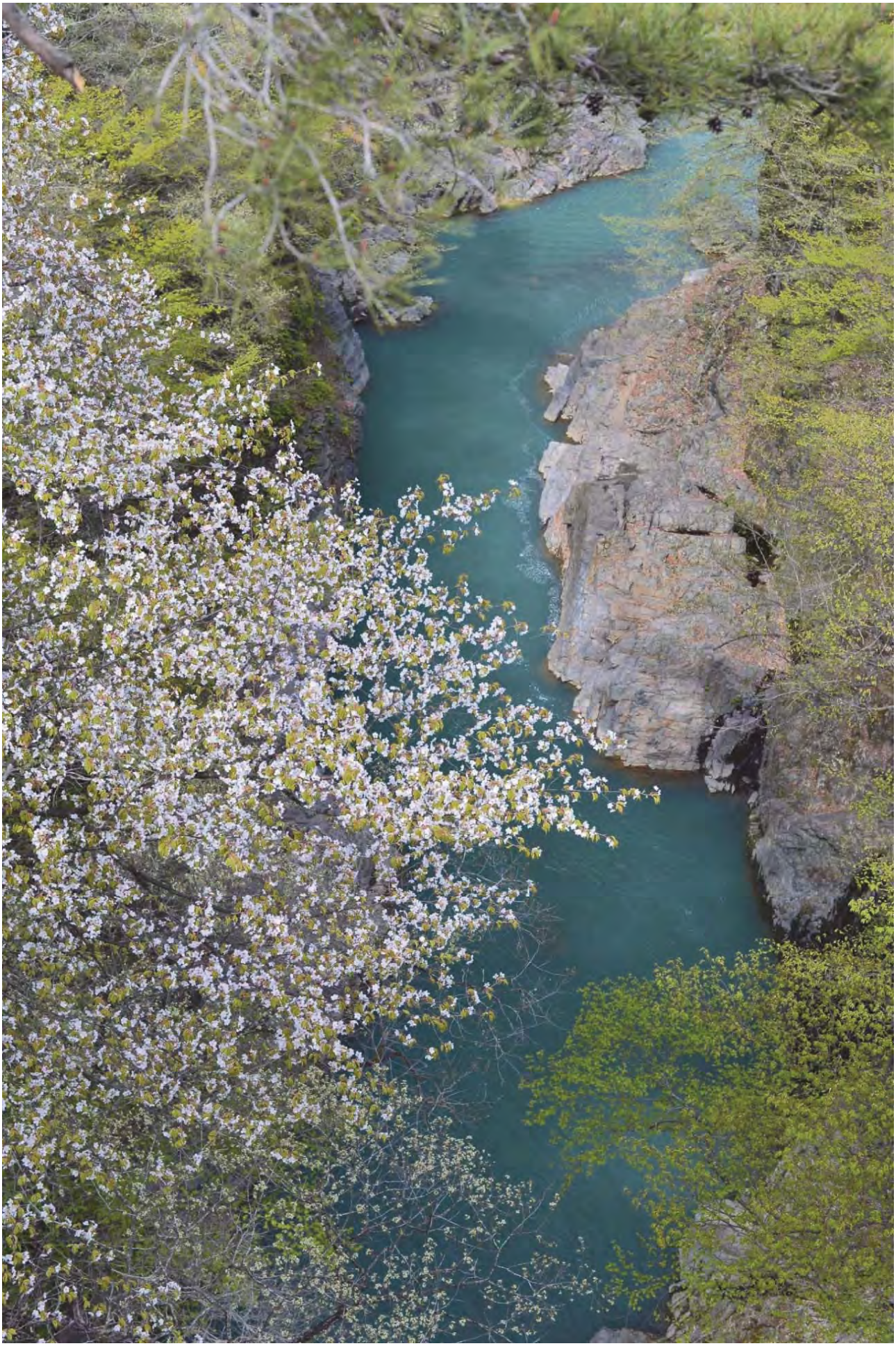
＜撮影：上原励　2017 年 4 月＠群馬県安中市・八咫(やた)川左岸河岸段丘上＞



放水路に垂れる桜

日曜日の昼下がりの散歩道、満開の桜が水路を覆うようにほこっていたのでついシャッターを・・・。

＜撮影：荒木輝夫　2017 年 4 月＠群馬県前橋市・前橋公園(柳原放水路)＞



吾妻渓谷の桜

ちょっとだけ咲いていた吾妻渓谷の桜です。

＜撮影：川田貴章　2017 年 5 月＠群馬県・吾妻渓谷＞



桜のクローバー
ピンク色の四つ葉のクローバーだ、と嬉しくて撮りました。

＜撮影：Sanae Shirai　2017 年4月 @ 香川県高松市・栗林公園＞



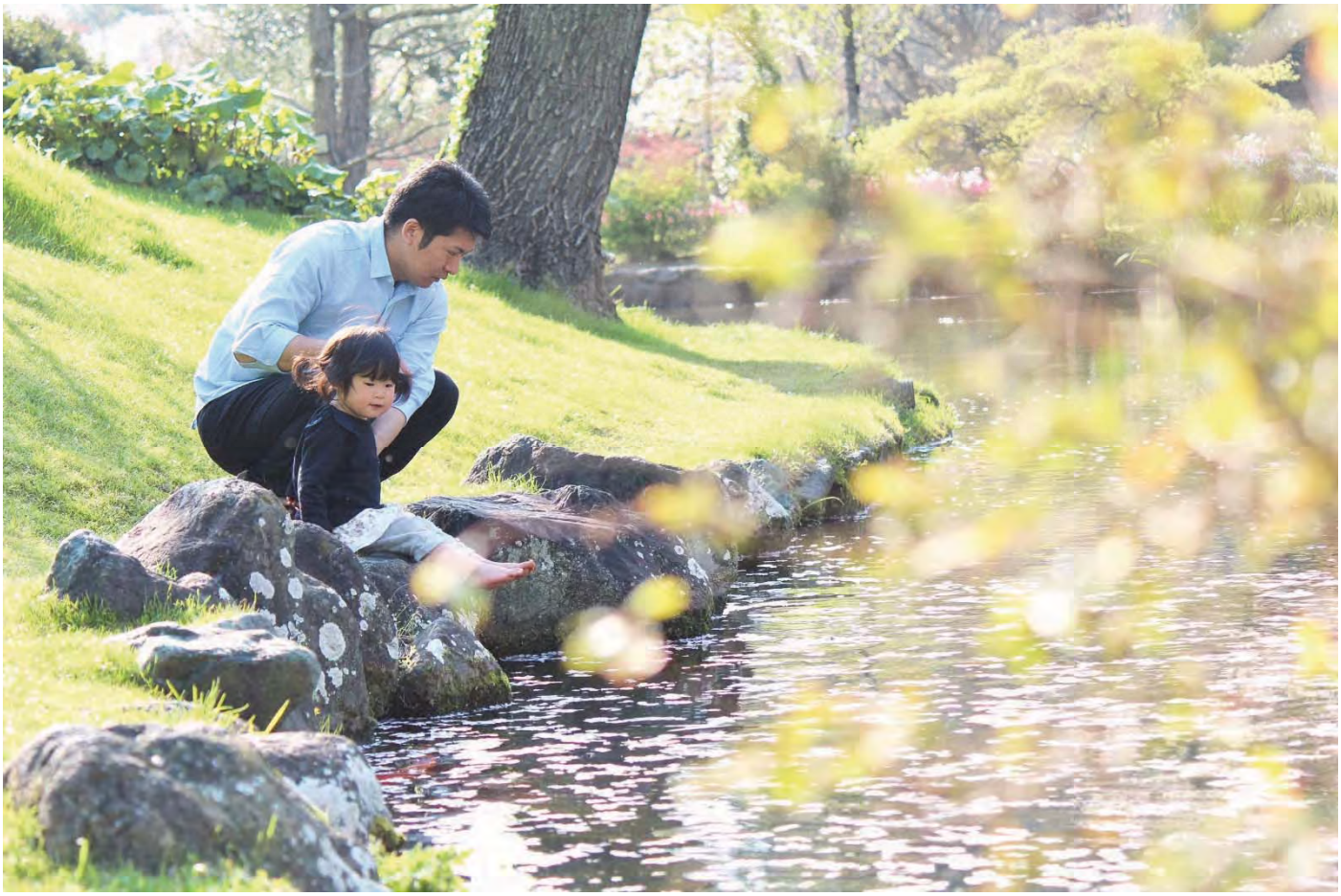
紫雲山をバックに池をぐるりと囲む緑。ちょこんと見える桜が春の公園の景色を彩ります。

＜撮影：Sanae Shirai　2017年4月@香川県高松市・栗林公園＞



桜輝く
いい天気に、いい光に、めぐり合いました。

＜撮影：井口克宣　2017 年 4 月 @ 宮崎県都城市・神柱神社＞



パパ見て〜雪！

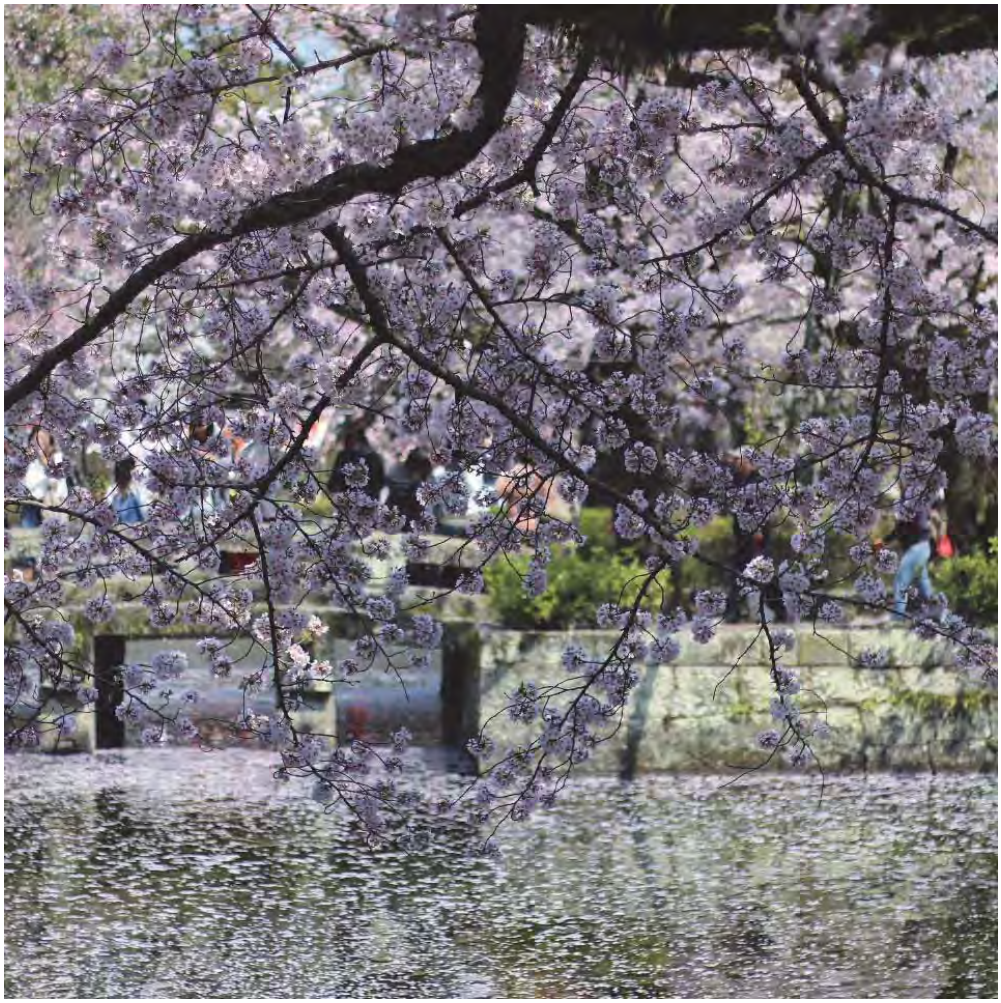
娘が散っていく桜の花びらや水辺に落ちている花びらを見て雪と言いました。娘にとっては春の雪のようです。

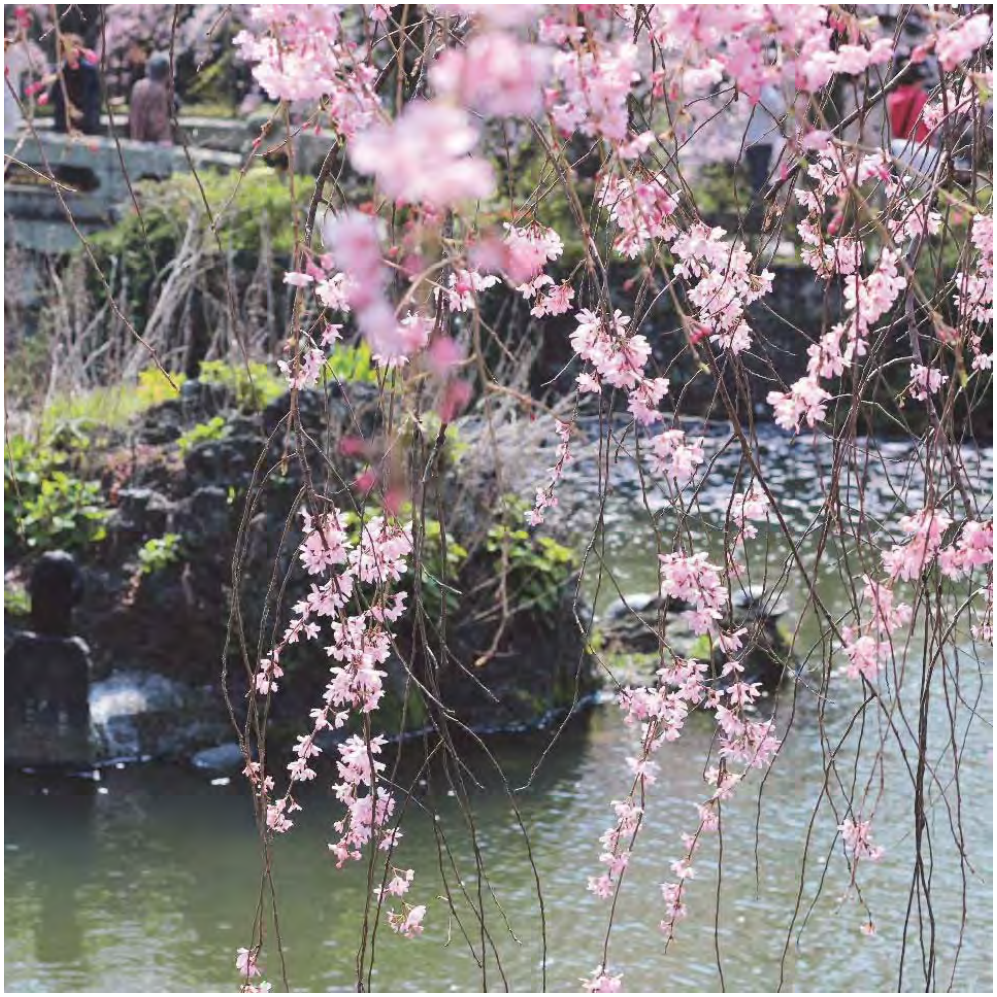
＜撮影：鶴美咲　2017 年 4 月 @ 静岡県浜松市・はままつフラワーパーク＞



さくらとかも
航空自衛隊の基地そばの川ですが、かもがいつも寝ています。

＜撮影：大石昌弘　2017 年 4 月＠静岡兼焼津市＞











乱れ咲き

三島大社は2月の河津桜から始まり八重の枝垂桜まで長期に渡って桜を楽しめる絶好ポイントです。

＜撮影：関崇　2017年4月＠静岡県三島市・三島大社　神池＞



一番早い春景色

河津川の両岸を彩る河津桜の壮観な姿です。この日は曇天で夕方には強風も吹き荒れ翌日には桜の色も茶色に変色してしまいました。
この撮影日が今年の河津桜の最終満開日となりました。

＜撮影：小西直昭　2017 年 2 月＠静岡県賀茂郡河津町＞



風が吹く度に花びらがヒラヒラと散り、水辺に浮かんでいました。

＜撮影：植松勇人　2017年4月@静岡県富士市・小潤井川＞









せせらぎ遊歩道と「源兵衛川」
河川清掃活動で灌漑用水路の清流がよみがえった、富士山の伏流水を水源とする遊歩道で疎水百選の一つ。
＜撮影：加藤晴敏　2017 年 4 月＠静岡県三島市・源兵衛川＞



Orange
早咲きで知られる河津桜です。
桜といえば青空とのコントラストを対比させることが多いと思いますが、あえて夕暮れ時に撮影しました。
川が夕日色に染まり、美しくも少し寂しさや切なさが感じられます。

＜撮影：大村祐大　2017年2月@静岡県河津町＞



Orange

早咲きで知られる河津桜を、朱の橋とその下に流れる川とともに撮影しました。

春爛漫、というものではなく、これからようやく春が訪れつつあるという情景にするため、夕方の日差しが桜の花びらを透過する様子をドラマチックに撮影しました。

＜撮影：大村祐大　2017年2月＠静岡県河津町＞



両岸の桜並木の間に富士山が顔を出していました。

＜撮影：植松勇人　2017 年 4 月＠静岡県富士市・小潤井川＞



静岡県裾野市偕楽園（不動の滝）での撮影です。
この日はあいにくの雨でしたが、バックに写る滝や雨粒を味方にしようと努力をしてみました。

＜撮影：Yuji Nishizawa　@静岡県裾野市・偕楽園＞



静岡県裾野市偕楽園(不動の滝)での撮影です。
この日はあいにくの雨でしたが、バックに写る滝や
雨粒を味方にしようと努力をしてみました。

＜撮影:Yuji Nishizawa　@静岡県裾野市・偕楽園＞



静岡県裾野市偕楽園（不動の滝）での撮影です。
この日は天候が朝から悪く、桜が咲いて迎えてくれているのに、人は居ませんでした、だからこそできた、全景と
朝霧と桜の作品です。

＜撮影：Yuji Nishizawa　@静岡県裾野市・偕楽園＞



春の流れ

河津の桜や野花も綺麗ですが、穏やかに流れる河津川も綺麗で一足早く春を感じられました。

＜撮影：柴田隼樹　2017年2月＠静岡県賀茂郡河津町＞



美しい風景

＜撮影：白浜定市　2017 年 4 月＠静岡県富士市・潤井川＞



水鏡
滅多に見られない風が吹いてない時に川面へ桜が写る幻想的な瞬間。

＜撮影:中世古健吾　2017年4月@三重県伊勢市宇治中之切町·五十鈴川＞



花筏
三重県飯高町の道の駅。
桜吹雪が舞い散り、川面には花筏が(⌒∇⌒)

＜撮影:中川智子　@三重県飯高町波瀬駅＞



水分(みくまり)桜
奈良県の桜の隠れた名所。
満開の宇陀市の水分(みくまり)桜です！
桜舞い散る川沿いで春を満喫。

＜撮影：中川智子　@奈良県宇陀市菟田野区＞



古都の春

ボートに乗っての花見はいかが。

＜撮影：田畑新二　2017年4月@奈良県奈良市・浮見堂＞



桜祭り
桜を見上げ流れる佐保川。

＜撮影：田畑新二　2017年4月@奈良県奈良市芝辻町・佐保川＞



神山の春
三輪の山を彩る桜。

＜撮影：田畑新二　2017 年 4 月 @ 奈良県桜井市三輪＞



満開を泳ぐ
桜が映る池を錦鯉が泳ぐ奈良公園。

＜撮影：田畑新二　2017年4月@奈良県奈良市雑司町＞



春雨に濡れて

秋篠川を泳ぐ鴨と雨露の残る桜。

＜撮影：田畑新二　2017年4月@奈良県奈良市西ノ京町・秋篠川＞



初春の桜
まだ寒いうちの咲いた一房の桜と川面の反射が美しい。

＜撮影：井上小希子　2017年4月@奈良県生駒市・竜田川＞



竜田川と生駒山と桜

満開の桜と愛着のある生駒山と竜田川を一枚に収めることができました。

＜撮影：井上小希子　2017 年 4 月 @ 奈良県生駒市・竜田川＞



孤独な自転車
待ちにまった春に川辺で遊ぶ子供達の自転車がポツリと置かれていました。
＜撮影：井上小希子　2017 年 4 月 @ 奈良県・佐保川＞



雨だぁ〜！
朝から雨が降ったり止んだりの奈良公園。
そんな中でも花見をやっているツワモノたちがいて、「よくやるなあ」と眺めていると、突然スコールのような雨が降ってきました。
大変！わあわあ言いながらバタバタと荷物を抱え、桜の木の下まで走って雨宿りする様子を遠くから見ていて、でもこれもいい思い出になるんじゃないかなと思ったり。
水煙にかすんだ桜が夢のようでした。
＜撮影：室山理奈　2017 年 4 月 @ 奈良市・猿沢池＞



長谷寺満開

奈良県内はいたるところで桜満開の日でした。長谷寺は10年ぶりくらいの訪問です。

＜撮影：小西直昭　2017年4月@奈良県桜井市初瀬＞



Sakura reflection

桜撮影で奈良にお邪魔していました。移動中に偶然発見した川に桜が咲いており、思わず見に行く事に。
河原に水際まで降りれる階段があり、其の下には中洲がありました。
そこから水面ギリギリに撮影した1枚です。
有名な観光スポットではないかもしれませんが、このような発見が大変うれしく感じた瞬間でした。

＜撮影：藤浪秀明　2017年4月@奈良県桜井市＞



祭りのあと

開花が１週間ほど遅かった今年の下北山村の桜。
今にも降りそうな空。
しっとりとした桜風情にしばし時を忘れて･･･。
奈良に春を告げる「桜」です。

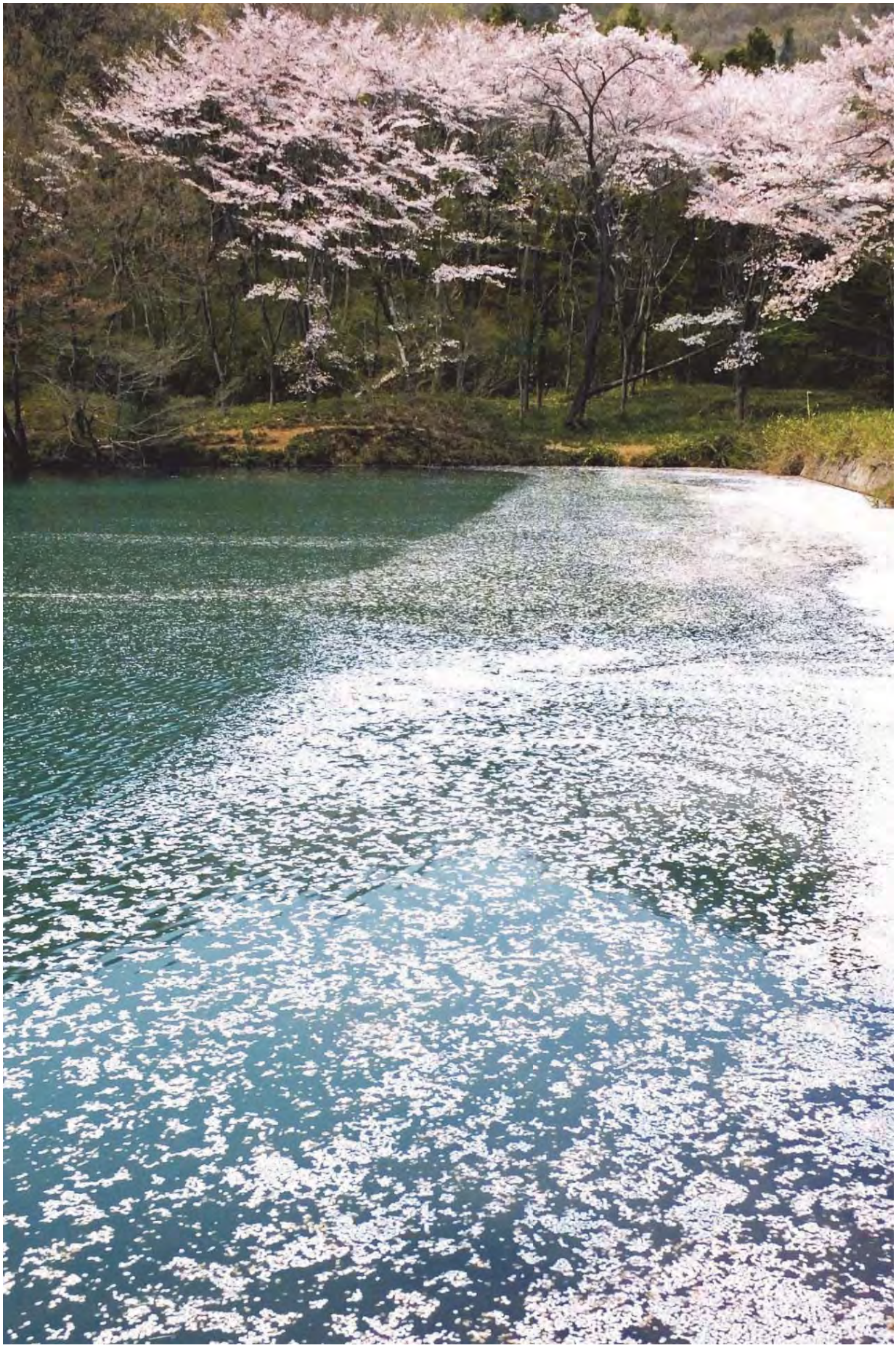
＜撮影：中川智子　@奈良県吉野郡下北山村＞



春を満喫

手作りのカヌーを乗ってお花見、地上から見物する桜の花見とは迫力と雄大さがあり至福の時を満喫、日本人でよかったーと思う。

＜撮影：高橋洋　2017 年 4 月＠栃木県足利市利保町・袋川＞



花筏

桜の花が散り、水面にまるで宝石をちりばめたように美しく輝くさまが筏が流れているように見える。木の上に咲く桜も水面に浮かぶ桜も美しい優雅な日本の春。

＜撮影：高橋洋　2017 年 4 月＠栃木県足利市板倉町・金丸溜池＞



水面の春

花吹雪で水面に散った花びらの中を泳ぐアヒル、優雅な水面の春を満喫。

＜撮影：高橋洋　2017 年 4 月＠栃木県足利市利保町・袋川＞



シャワーを浴びる桜

この写真はいつも訪れる好きな公園の桜満開のタイミングで撮影したものです。
秋は紅葉で美しい公園ですが、春は桜が満開になり別の表情を見せてくれます。
更に、噴水がちょうど桜にかかるギリギリの位置にあり、まるで桜がシャワーを浴びているかのようでした。

＜撮影：荒川修一　2017 年 4 月＠栃木県栃木市・栃木市第二公園＞



水園に羽ばたく白い蝶

この写真はいつも訪れる好きな公園の桜満開のタイミングで撮影したものです。
噴水の位置に合わせて咲き乱れる桜を撮影しました。
桜がまるで白い蝶々のように見えたので写真に収めました。

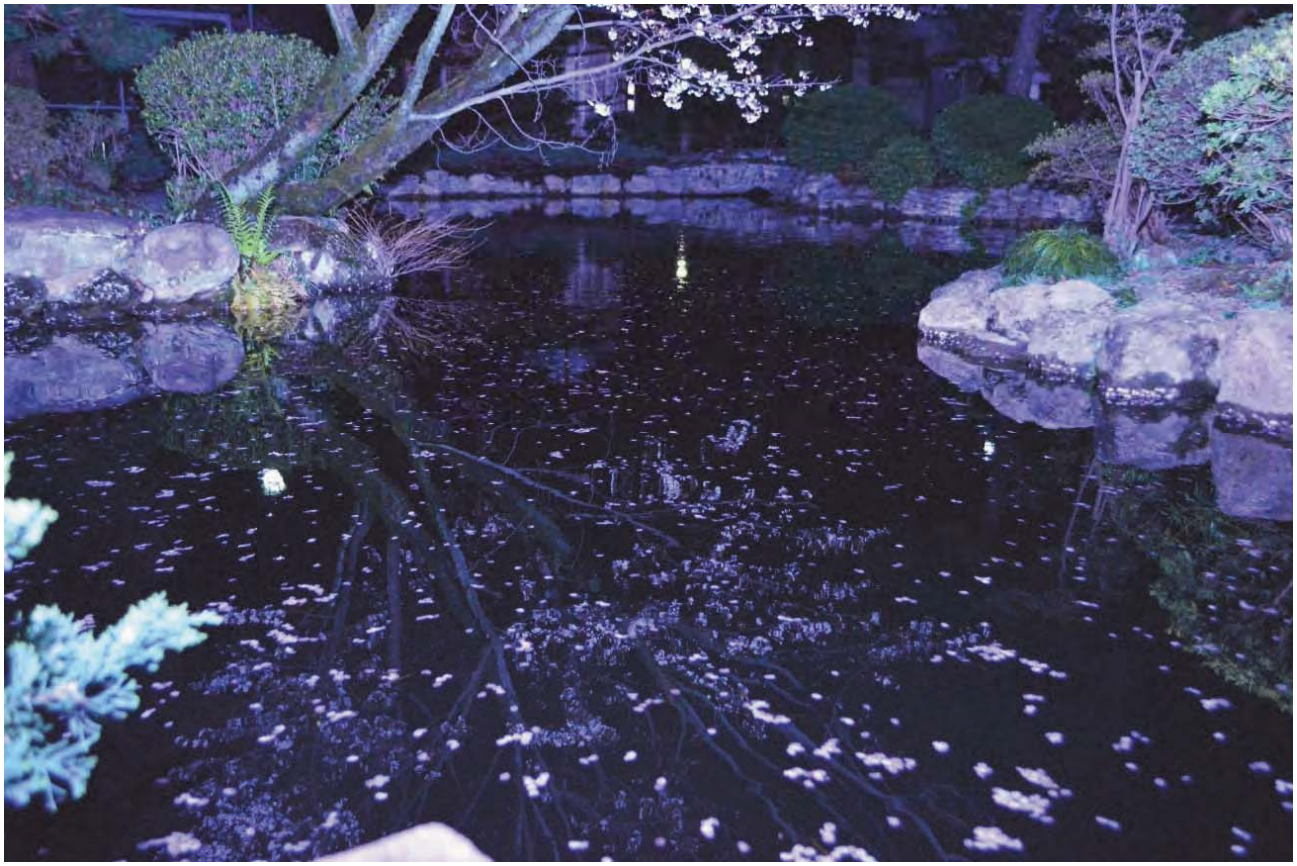
＜撮影：荒川修一　2017 年 4 月＠栃木県栃木市・栃木市第二公園＞



水上のアリア

この写真はいつも訪れる好きな公園の桜満開のタイミングで撮影したものです。
水面ギリギリの位置で桜が咲いているところがとても印象的でした。

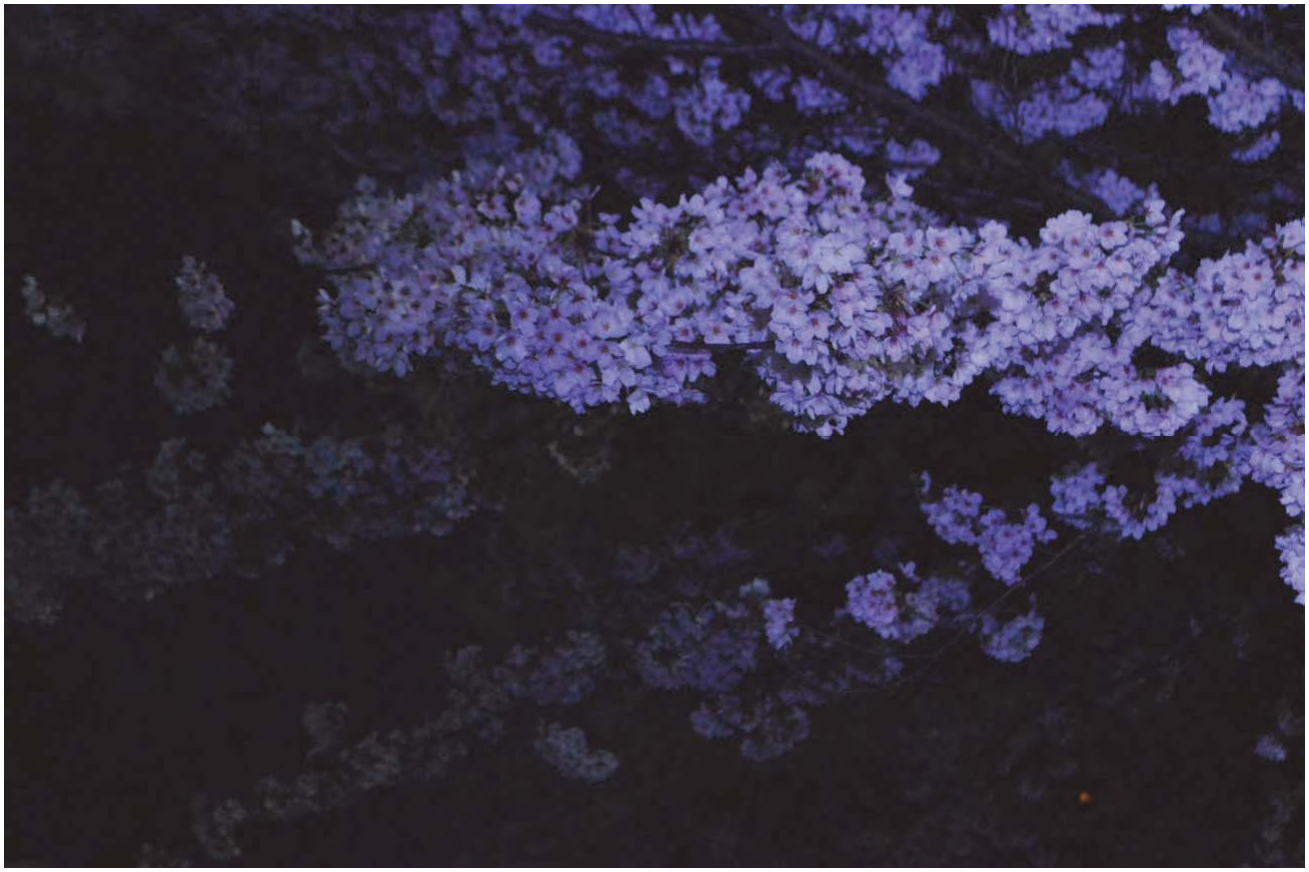
＜撮影：荒川修一　2017年4月@栃木県栃木市・栃木市第二公園＞



水面に浮かぶ白い宝石

この写真はいつも訪れる好きな公園の桜満開のタイミングで撮影したものです。
水面に散った桜がとても綺麗でまるで宝石が水面に浮かんでいるようでした。
また、夜の公園で光が微妙に水面を照らし、桜が水に反映していてとても風情があり、写真におさめました。

＜撮影：荒川修一　2017 年 4 月 @ 栃木県栃木市・栃木市第二公園＞



桜瞑想曲

この写真はいつも訪れる好きな公園の桜満開のタイミングで撮影したものです。
色調を補正して撮影したものですが、目をつぶるとこの満開の光景が浮かんでくるようでしたので写真におさめました。

＜撮影：荒川修一　2017 年 4 月 @ 栃木県栃木市・栃木市第二公園＞



青春満開
高校野球部青春満開でした。

＜撮影：原　享史　2017年4月@栃木県矢板市＞



心弾む春

桜の素晴らしさを世界中の方に知ってほしい。

＜撮影：和具麻里子　2017年4月@栃木県栃木市・金崎堤＞



桜の下で
桜の素晴らしさを世界中の方に知ってほしい。

＜撮影：和具麻里子　2017年4月@栃木県栃木市・金崎堤＞



心いっぱいに幸せを
桜の素晴らしさを世界中の方に知ってほしい。

＜撮影：和具麻里子　2017年4月@栃木県栃木市・金崎堤＞



霞ヶ浦湖畔の小さな公園

愛犬とこの霞ヶ浦の小さな公園によくドライブにきました。愛犬は 2 年前に天国に行きました。思い出の場所です。

＜撮影：本間方生　2017 年 4 月 @ 茨城県稲敷郡阿見町・霞ヶ浦湖畔＞



マイフレーム持って茨城県の福岡堰の桜をカヤックからお花見

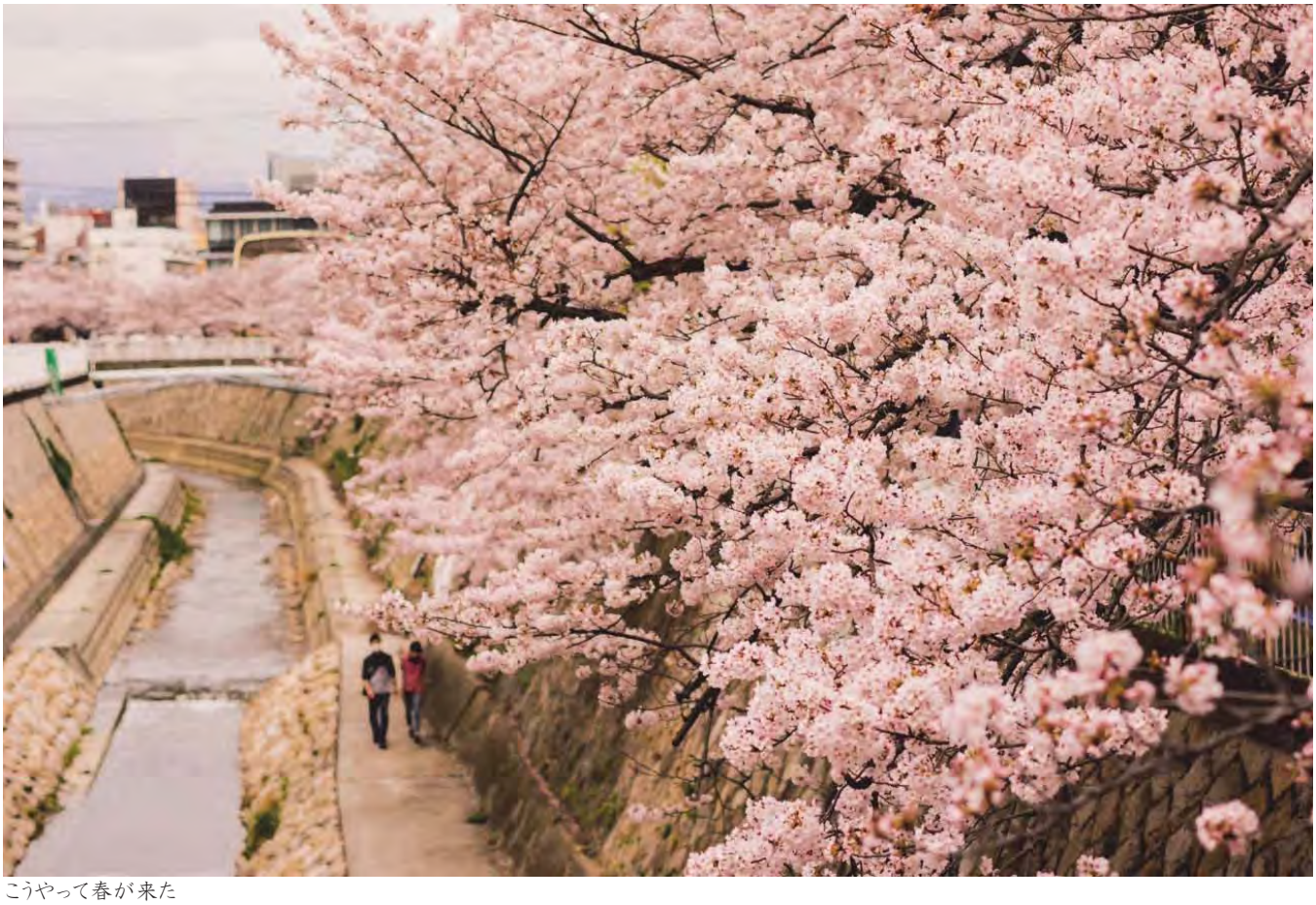
＜撮影：浦川俊幸　2017 年 4 月 @ 茨城県・福岡堰＞



桜紀行

ゴイサギが河原で羽休めに飛来、距離を置いてこちらを注視。

＜撮影：住宮正伸　2017年4月＠兵庫県西宮市津門宝津町・津門川＞



こうやって春が来た
一眼レフを買って初めて迎えた春。それを記録しました。

＜撮影：福井達也　2017年4月@兵庫県神戸市・妙法寺川＞



降る桜
見上げたら桜が降り注いでるようでした。
ファインダー越しの桜は美しかったです。

＜撮影：福井達也　2017 年 4 月＠兵庫県神戸市・妙法寺川＞



色褪せないためにも
今年の春の備忘録です。

＜撮影：福井達也　2017 年 4 月＠兵庫県神戸市・妙法寺川＞



明石公園
明石公園で一番のビューポイントから1枚。

＜撮影：高木勇　2017年4月@兵庫県神戸市・明石公園＞



亀さんもゆったり花見
仕事帰りの道で見つけた風景。
散りかけの桜もきれいやね。

＜撮影：上嶋正彦　2017年4月@兵庫県加東市＞



見納め

散った桜も見て欲しい。

＜撮影：大谷桃菜　2017 年 4 月＠兵庫県中央区・生田川＞







名残の花

姉の出張についていった先で、恐らく今年最後の桜かなと思い、仕事で観光をする時間がなかった姉にも見せようと撮影しました。

＜撮影：本田諒太郎　2017年4月@石川県金沢市・兼六園＞



思い出の通学路

手取川扇状地に緑の絨毯のような畑、小さな桜並木の一本道を自転車で下校する生徒。きっと思い出になるんだろうな?と羨ましく思って撮影。

＜撮影:中林義博　2017 年 4 月@石川県能美市・手取川扇状地＞



思い出の通学路

街の桜はもう終わって葉桜になって初夏を迎えようとしていますが、山では自然の山桜が人知れず咲きほこっていた、冬を思わせる雪渓が残る背景に山桜がとても綺麗で自然の摂理を感じさせられました。

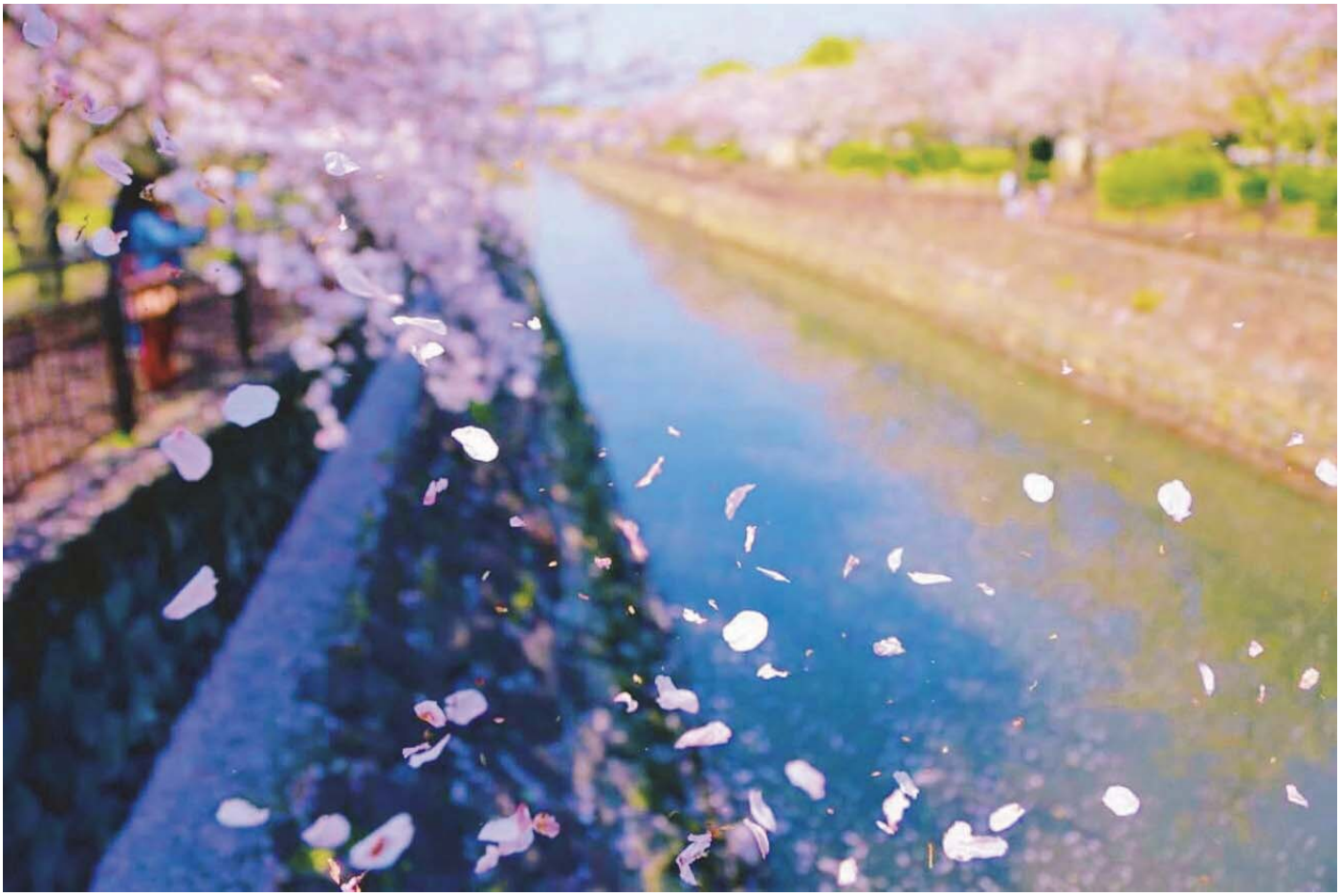
＜撮影：中林義博　2017 年 4 月＠石川県白山市・手取川＞



筑後川水系玖珠川の桜風景

大分県大野川の白水ダムは、この龍門の滝をイメージとして造られたと言われています。
久留米地方の桜は花吹雪ですが、筑後川の上流では、今が満開で楽しませてもらいました。

＜撮影：古賀邦雄　2017 年 4 月＠大分県九重町・龍門の滝＞



さよならのはじまり
私は高校時代の恩師から「さよならだけが人生」という言葉を頂き、深く胸に刺さりました。
さよならだけが人生だけど出会えたこと自体が奇跡で。
そのいつかのさよならがいつ来るのかなんてわからないから「その一瞬」を大切にしてほしい。
その言葉を思い出しながら撮影しました。
桜もいつ咲くか分からなければいつ散るかも分からないです。でも確実にその一瞬はあります。
桜吹雪の舞い始めのほんの一瞬を大切な気持ちで納めました、

＜撮影：宮﨑萌々　2017年4月@大分県大分市・平和市民公園＞



桜の乱舞

18 歳で故郷を離れ、昨年たまたま出張で桜の満開が見られ感動し今年もこの桜を見たさに故郷を訪れました。
40 年以上前この川でアユ釣りや水遊びをした記憶が蘇ります。

＜撮影：齋藤　正　2017 年 4 月＠富山県下新川郡朝日町・舟川桜並木＞



桜隧道

18 歳で故郷を離れ、昨年たまたま出張で桜の満開が見られ感動し今年もこの桜を見たさに故郷を訪れました。
40 年以上前この川でアユ釣りや水遊びをした記憶が蘇ります。

＜撮影：齋藤　正　2017 年 4 月＠富山県下新川郡朝日町・舟川桜並木＞



桜満開

18 歳で故郷を離れ、昨年たまたま出張で桜の満開が見られ感動し今年もこの桜を見たさに故郷を訪れました。
40 年以上前この川でアユ釣りや水遊びをした記憶が蘇ります。

＜撮影：齋藤　正　2017 年 4 月＠富山県下新川郡朝日町・舟川桜並木＞



春の舟川

18 歳で故郷を離れ、昨年たまたま出張で桜の満開が見られ感動し今年もこの桜を見たさに故郷を訪れました。

40 年以上前この川でアユ釣りや水遊びをした記憶が蘇ります。

＜撮影：齋藤　正　2017 年 4 月＠富山県下新川郡朝日町・舟川桜並木＞



さくら川

＜撮影：上田邦男　2017 年 4 月@富山県＞



水郷めぐり
水郷の町で有名な近江八幡の春は菜の花や桜の中で船旅。

＜撮影:中世古健吾　2017年4月@滋賀県近江八幡市北ノ庄町＞



湖北の春

琵琶湖の北に位置する海津大崎の桜（日本さくら名所100選）です。
お花見の賑わいが一段落した夕暮れ時、静かな湖面に花びらが一枚、また一枚と音もなく舞い降りていました。
琵琶湖の桜の季節は、湖北で終わりを向かえます。

＜撮影：滝　宏志　2017年4月@滋賀県高島市・淀川水系琵琶湖＞



長浜城
滋賀県の長浜城を噴水越しに撮影。面白い構図になりました。

＜撮影：高木　勇　2017年4月@滋賀県・長浜城＞



緑の挟まれて、、、
橋の真ん中に立つと緑に挟まれた桜が中央に映えます。

＜撮影:八尾昌博　2017年4月@滋賀県蒲生郡日野野出・佐久良川＞



桜並木と水仙の競演

桜と水仙の競演を楽しめる散歩道。

＜撮影:八尾昌博　2017 年 4 月@滋賀県東近江市芝原町＞



桜並木の入り口
池の端まで続く桜並木の入り口です。

＜撮影：八尾昌博　2017年4月@滋賀県東近江市・宮溜＞



水鳥も花見？

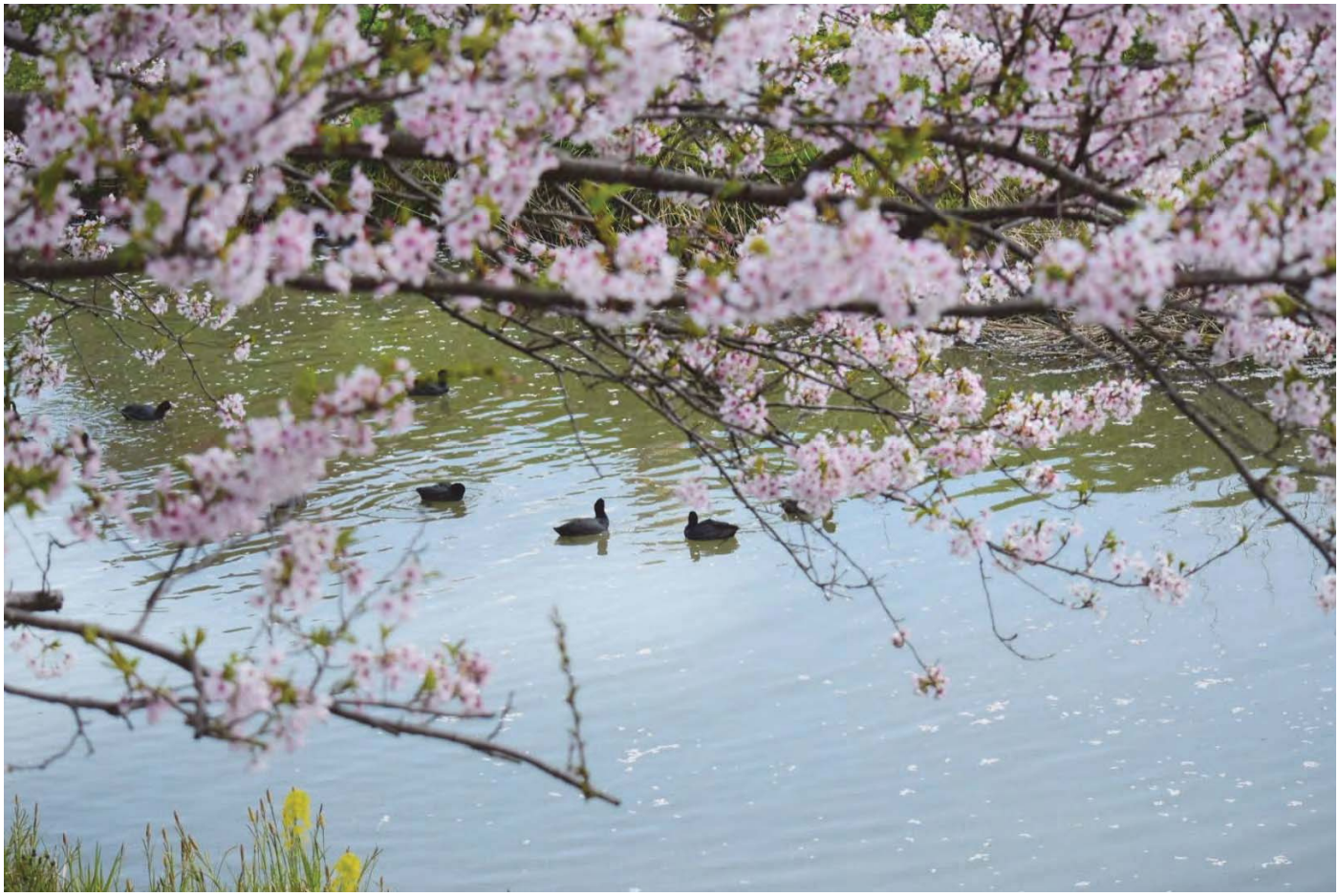
桜の花に吸い寄せられるように水鳥が集まっていました。

＜撮影：八尾昌博　2017 年 4 月＠滋賀県東近江市・布施溜池＞



一列縦隊
池の端から端まで一列に並ぶ姿がきれいでした。

＜撮影：八尾昌博　2017 年 4 月＠滋賀県東近江市・宮溜＞



桜と水鳥

川の水がかなり濁っていたのが残念ですが、何をするでもなく流れに身を任せてプカプカしていた水鳥と、少し遅めの桜とのコラボです。

＜撮影：佐野美保子　2017年4月＠滋賀県大津市真野川河川敷＞



琵琶湖　海津大橋

紫式式部所縁の海津大橋をトンネル越しに見ました。

＜撮影：高木　勇　2017 年 4 月@滋賀県・琵琶湖海津大橋＞



渦と桜

渦巻く川と桜です。

＜撮影：関沢元治　2017 年 4 月＠宮城県石巻市＞



北極星と川辺の祖倉
夜中に撮影しました。 北極星と桜のコラボです。

＜撮影：佐山勝信　2017 年 4 月 @ 福島県・猪苗代＞



鯉と散桜
桜の写真を撮影していましたら鯉が。

＜撮影：佐山勝信　2017 年 4 月 @ 福島県・鶴ヶ城お堀＞



春の小川
小川の水際間近かに太い桜の幹があり、桜も、川の水も、手に触れることのできる親しみやすい場所です。
私のなかではこれがまさに「桜のある水辺」の風景です。

＜撮影：桑原秀美　2017 年 4 月 @ 福島県猪苗代町・観音寺川＞



この時期、大勢の観光客が訪れますが、水際まで降りて散策すればせせらぎの水音に癒され、人びとの喧騒さは感じられず心静かに花見が楽しめる好きな場所のひとつです。

＜撮影：Hidemi Kuwahara　2017 年 5 月 @ 福島県耶麻郡猪苗代町・＞



私の生活圏であるごく身近な川です。桜はもちろん紫陽花や水鳥など四季折々に楽しませてくれる川です。

＜撮影：Hidemi Kuwahara　2017 年 4 月 @ 福島県郡山市・笹原川＞



山麓の春

急速に雪解けが進む中、残雪が残る山を見ながら都心に帰る途中桜が咲いている公園を見つけ思わず立寄りました。
もうすぐ山に太陽が沈む寸前、太陽を背にした写真です。

＜撮影：齋藤　正　2017 年 4 月＠新潟県南魚沼郡湯沢町・中央公園桜並木＞



新潟県新発田市加治川堤にて 4 月 15 日に撮影。
毎年お花見をするのですが今年は行ったことない場所に行きました。
何千本も桜があり、とても綺麗でした。
＜撮影：成澤佳子　2017 年 4 月＠新潟県新発田市・加治川堤＞



水鏡の桜

今年最後の桜を観るために、庄内地方を訪れました。
主だった桜スポットは葉桜になっている中、ここは少し遅い春模様でした。

＜撮影：白鳥一樹　2017 年 5 月＠山形県最上郡金山町田屋＞



春がきたよ
雪解け水を湛える堤に咲く1本桜・・・冠雪残るアルプスに、冬を惜しみつつも春を告げているかのようでした。
＜撮影：河内　聡　2017年4月@長野県上伊那郡中川村・大井沢堤＞



花びら

桜の花びらが、水辺に浮かんでいた。2枚の花びらは、中央の石の周りから離されて池に浮ぶ。石から離れた花びらは、どこに行くのだろうか。桜の存在感は、散った花びらまでをも考えさせられる。

＜撮影：宮内良人　2017年4月@長野県飯田市鼎中平・松川会館＞



卯皐月風景

「桜の華」と「鯉のぼり」という四月と五月が一度に訪れたような一見不思議な組み合わせは，長い冬を耐えて遅い春を待ちわびる，信州ならではの風景なのかもしれません．

＜撮影：山田　哲　2017年4月@長野県辰野町・荒神山公園たつの海＞



大出公園の桜

姫川の清流が流れる白馬村の大出公園からの白馬山麓を背景にした桜です。

＜撮影：柳　博之　2017 年 5 月＠長野県白馬村＞



桜星系〜青木湖の桜

桜と星々の星景写真を撮影したくGWに青木湖に向かいました。
湖畔の1本桜と北斗七星、星々が映り込んだ青木湖の湖面がとても印象的な作品に仕上げることができました。
まるで北斗七星の柄杓が桜に水をあげているようです。

＜撮影：池田道雄　2017年5月@長野県大町市・青木湖湖畔＞



拾ヶ堰(ジッカセキ)の朝

北アルプスの常念岳に向かって流れる用水の岸の桜が咲きました。山が綺麗に見える早朝に撮影をしました。

＜撮影：Hajime Daigaku　@長野県・拾ヶ堰＞



埋の橋

松本城のお堀に架かる「埋の橋(うずみのはし)」の赤が桜のピンク、柳の新緑にアクセントを与えていました。

＜撮影：Hajime Daigaku　@長野県・松本城＞



岩木山と桜

憧れの人と見上げた岩木山と桜です。後日、一人で来て撮りました。今年最後の桜かな？
素敵な風景を見れたことに感謝します。

＜撮影：おだまみ　2017年4月@青森県・嶽温泉付近＞



明鏡止水
地元の方々の憩いの場です

＜撮影：中田　亮　2017年4月＠青森県青森市・野木和公園＞



小春日和
青森市海辺にある公園です。

＜撮影：中田　亮　2017年4月＠青森県青森市・合浦公園＞



はるかぜ
青森県内同一日で撮影しても、場所により咲き方が違うのが楽しいです。

＜撮影：中田　亮　2017年4月＠青森県上北郡六戸・舘野公園＞



春景
青森県十和田市にて撮影。

＜撮影：中田　亮　2017年4月＠青森県十和田市内＞



春うらら
十和田市内にて撮影しました。
春の暖かな風と水の冷気が心地よかったです。

＜撮影：中田　亮　2017年4月＠青森県十和田市・中央公園付近＞



弘前城西濠の桜と手漕ぎボート
家族、恋人、友達同士…手漕ぎボートが花筏にたくさんの道筋を作っていました

＜撮影：岩井彩友美　2017 年 5 月@青森県弘前市＞



弘前城西濠の夜桜

鏡のように水辺にうつる夜桜。この風景は息をのむ美しさです。人だかりなのにみなさん小声です。春陽橋は大人気の撮影スポットです。

＜撮影：岩井彩友美　2017 年 5 月@青森県弘前市＞



穏やかな春

今の穏やかでない世界情勢が差し迫る中でもいつもと変わらずに咲いて人々の心を和ませる桜の花といつもと変わらない池を撮影しました。
遠くから笑い声が聞こえる、そんな穏やかな午後を撮影しました。

＜撮影：内藤礼子　2017年5月@岩手県盛岡市・高松の池＞



用水路脇の桜

強く立っている桜がキレイだと思い、撮りました。

＜撮影：小田嶋千夏　2017年4月@岩手県北上市・江釣子全明寺下用水路＞



桜のトンネル

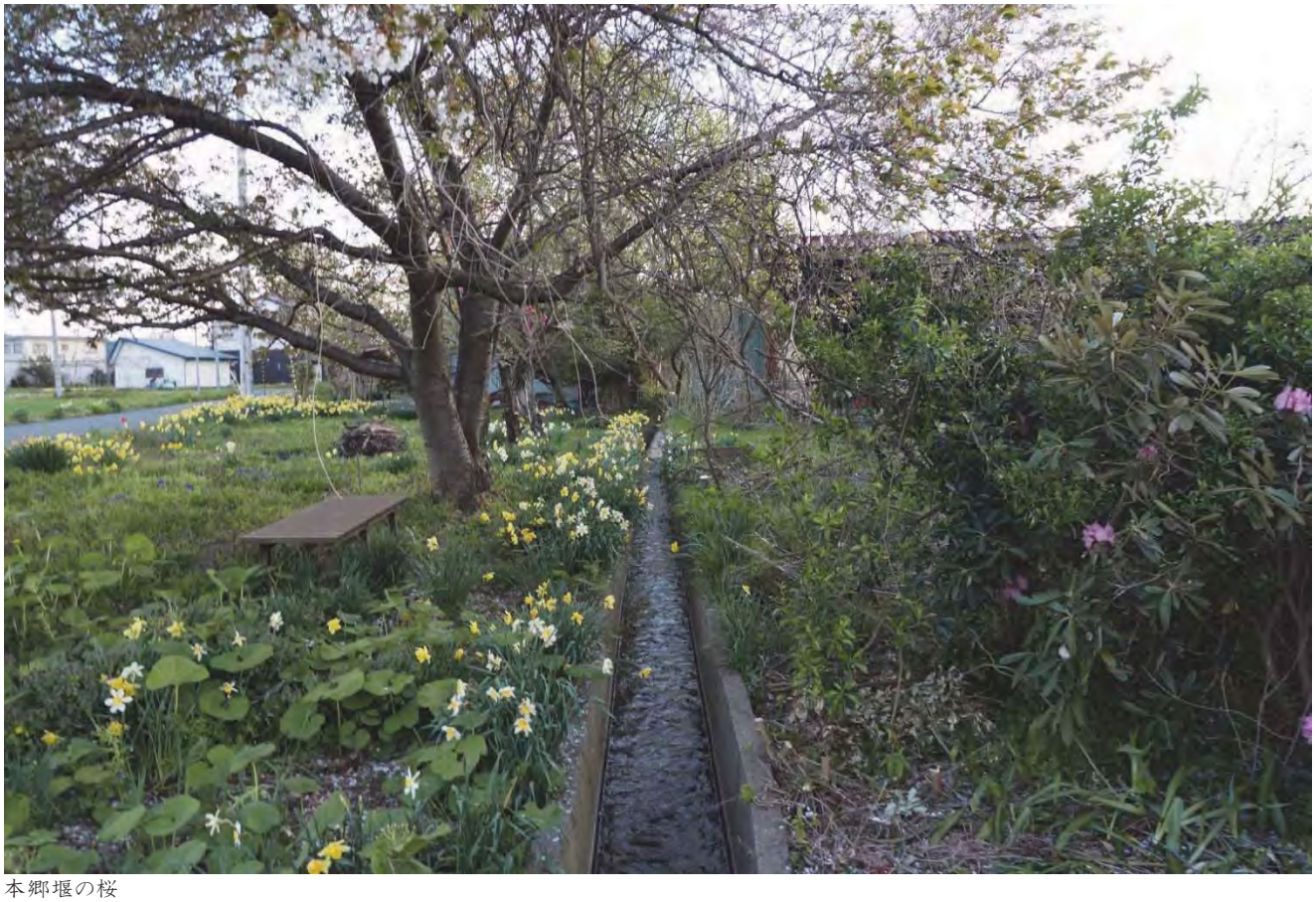
桜が天井に、用水路が小道に見え、きれいだと思って撮りました。

＜撮影：小田嶋千夏　2017年4月@岩手県北上市・江釣子全明寺下用水路＞



全明寺へと続く道
桜と建物のバランスが良いと思って撮りました。

＜撮影：小田嶋千夏　2017 年 4 月 @ 岩手県北上市・江釣子全明寺下＞



本郷堰の桜
民家の間を流れる堰と桜がキレイだと思って撮りました。

＜撮影：小田嶋千夏　2017 年 4 月 @ 岩手県北上市・本郷堰＞



奥州胆沢扇状地の田んぼを潤す徳水園の円筒分水工です。
バックの桜が花開き、瑞々しい春を告げています。

＜撮影：小野寺満　2017 年 4 月＠岩手県奥州市・徳水園＞



奥州市水沢区の市街地を通って流れる乙女川はやがて北上川に辿り着きます。
撮影地は阿弖流為の物見台です。
そのてっぺんから見下ろす乙女川と奥を流れる北上川、そして遠方の青く美しい北上山地の山並みです。

＜撮影：小野寺満　2017 年 4 月 @ 岩手県奥州市・乙女川、北上川＞



奥州市水沢区真城は美田が広がる有数の米どころです。
国道4号線沿いに建つ真城小学校には桜並木と田んぼに水を供給する小川が流れています。
満開の桜と沈みゆく夕日に照らされてピカピカ輝いている小川の水面が見せる風情は言葉に表すことができないほど素晴らしいです。

＜撮影：小野寺満　2017年4月@岩手県奥州市・(小川)＞



「さくら通り」と名付けられた奥州市内の新興住宅地「マイアネタウン」の道には、その名にふさわしい桜並木があります。
すぐ南側には幅広の農業用水路が流れ、桜の花影を映しだします。
この時季は菜の花も咲いて、美しい佇まいの春の景色を創り出してくれます。

＜撮影：小野寺満　2017年4月@岩手県奥州市・(農業用水路)＞



ソメイヨシノと枝垂桜が川沿いに咲いて、美を競い合っています。
ここは奥州市水沢区佐倉河地内を流れる乙女川です。
朝早くからこの美しい景色のなかを散歩する人たちが後を絶ちません。
川にはカモやコイもいて市民の目を楽しませてくれています。

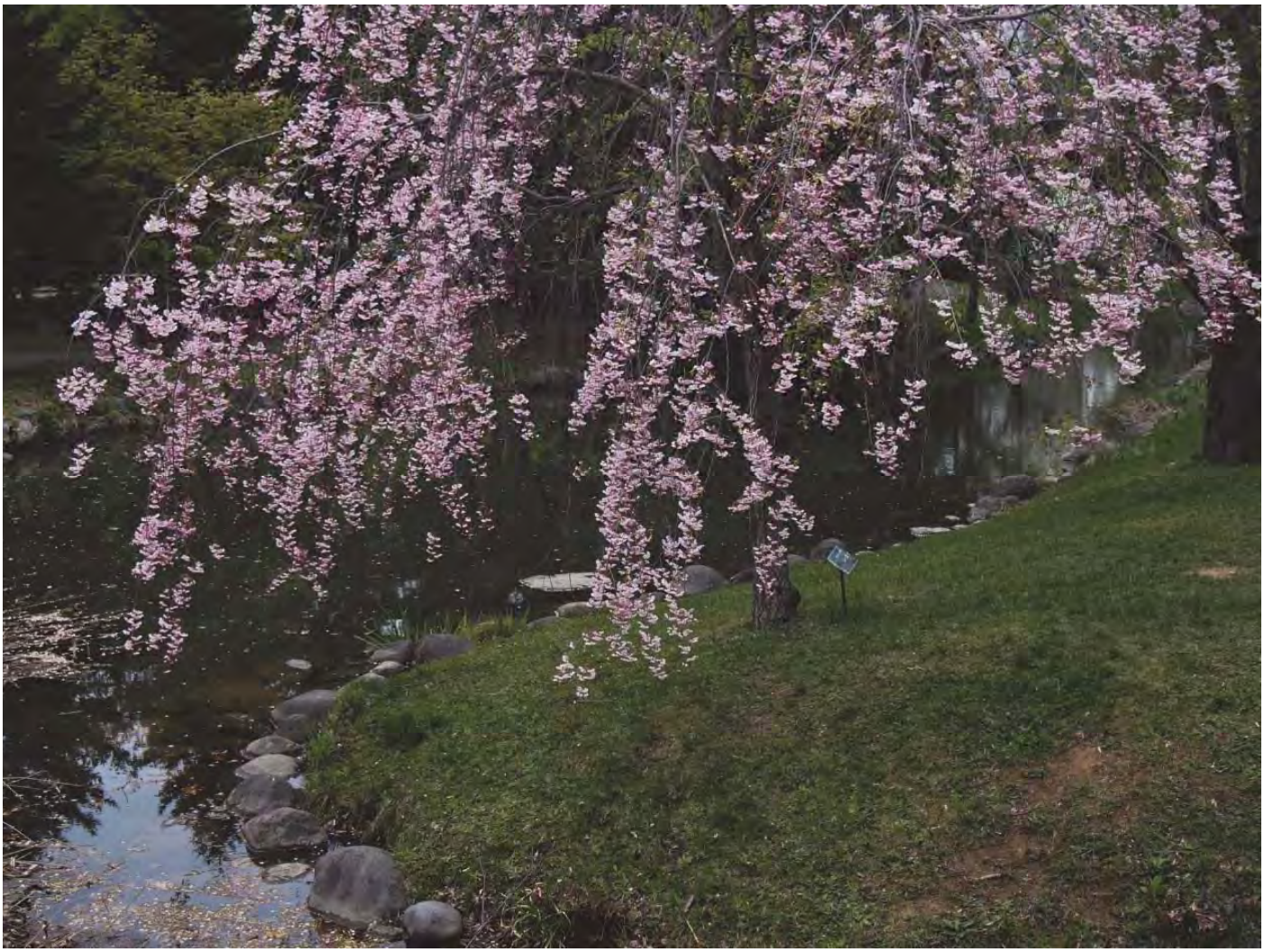
＜撮影：小野寺満　2017年4月@岩手県奥州市・乙女川＞



水堀と石垣と桜

水堀は主役。ご飯のような存在、おかずの美味しさを何倍にも増してくれる必要不可欠な食べ物。
まるで石垣の器に桜がふりかけのように浮かんでいる。
初めての遠距離ドライブで到着した函館。札幌から初心者での運転で約5時間、慣れない街での運転や駐車。
同乗者の友達からの運転のダメ出しなどもありとても気持ち的にもナイーブになっていましたが、この風景を観て心がとても癒されました。
心がホッとしたのもありその時はちょうどお腹が空いてました。

＜撮影：北野夏妃　2017年5月@北海道・五稜郭公園＞



優雅
日本で最後の方に見れる桜景色。

＜撮影：河合都章　2017 年 5 月＠北海道札幌市・鴨々川＞



アンニュイ

ゴールデンウィークが過ぎ、札幌近郊の桜の盛りも過ぎ、どこか気だるくてアンニュイな雰囲気の桜が、それでも優しく、気高く、心を穏やかにしてくれました。

＜撮影：長谷川吉秀　2017年5月＠北海道札幌市・西岡公園＞



葉桜の美しさ

札幌市西岡公園に盛りを過ぎた葉桜が咲いていました。それでもサクラは爽やかな美しさをたたえています。

＜撮影：長谷川吉秀　2017年5月＠北海道札幌市・西岡公園＞



応募概要

桜のある水辺風景（2017年撮影の作品に限ります。）
①ご本人が撮影した写真に限ります。②一人5点まで可能です③個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。

応募方法

Eメールでの応募
タイトル欄「桜のある水辺風景2017応募」とし、本文に下記応募シートの内容を記入の上、写真と共に info@a-rr.net まで送付下さい。
※合計サイズが約3MB以下となるようにお願いします。

Facebookでの応募
1．「桜のある水辺風景」facebookページにアクセスしてください。
2．投稿欄の[写真・動画]から写真を投稿して下さい。
3．[コメント欄]に、撮影場所（河川名など）、コメントを入力して下さい。
4．[投稿する]のボタンをクリックしてください。（完了）

注意事項

①Facebookページ及び後日作成の写真集で紹介します。②応募作品を紹介する際には氏名も掲載します。③同一地点での類似した作品は事務局により写真集掲載作品を選ばせて頂く場合があります。④応募内容が本企画の趣旨に沿わないと判断した場合は紹介を控えさせて頂きます。⑤JRRNの刊行物やウェブサイト等で使用させて頂くことがあります。⑥応募作品は返却致しません。

※応募に関する詳細情報はこちらから：http://jp.a-rr.net/jp/news/info/678.html

桜のある水辺風景 2017　応募シート			
氏名		Eメールアドレス	
題名		写真コメント ※Facebookや写真集に掲載させて頂きます	
撮影年月		撮影場所 ※河川・水辺名、地名（都道府県、市町村）	

主催：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)　応募先・問合せ先：info@a-rr.net　JRRN Japan River Restoration Network

桜のある水辺風景 2017　応募写真集

発行日　2017 年 6 月
発　行　日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
事務局(連絡先)　〒104-0033　東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号
NMF 茅場町ビル 7 階　(公財)リバーフロント研究所内
Tel: 03-6228-3865　Fax: 03-3523-0640
E-mail: info@a-rr.net , URL: http://www.a-rr.net/jp/
Facebook: https://www.facebook.com/JapanRRN

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

公益財団法人 リバーフロント研究所　CTI 建設技術研究所 国土文化研究所

桜のある水辺風景

2017

JRRN

Japan River Restoration Network

日本河川・流域再生ネットワーク